

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000001
開設科目名	制度の経済学研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	植村 高久			区分	
授業の概要					
現代の制度論の基本的な文献を渉猟し、経済学における制度の扱い方についての概括的理解を得る。					
授業の一般目標					
制度論経済学の基本的な概念を理解する。					
制度論的思考法と新古典派的思考法の違いを識別する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 制度や慣習、行動類型など制度論の基本概念を操作できる。					
思考・判断の観点: 制度論的思考法による問題設定ができる。					
成績評価方法(総合)					
輪読における理解度、議論への参加度で評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000002
開設科目名	経済応用数学A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	柏木 芳美			区分	
授業の概要					
受講生の数学的予備知識に配慮しながら、ミクロ経済学の数学的理解に必要な不可欠な多変数関数の微分や行列式や凹関数の最大値問題あるいは動学経済の問題などについて概説する。尚、他に希望があれば相談にのる。以下、ミクロ経済学を前提として書いておく。					
授業の一般目標					
ミクロ経済学で使う数学を身につけること。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 偏導関数の計算ができる。					
2. 行列式の計算ができる。					
3. 無差別曲線、限界代替率などの概念を理解できている。					
思考・判断の観点: 1. 経済現象を数学を使って考えることができる。					
関心・意欲の観点: 1. 日常生活の中の経済現象に関心を持つ。					
成績評価方法(総合)					
毎回演習問題を出す。その結果を見て成績を付ける。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
毎回演習問題を出すので次回までに必ず解いてくること。					
連絡先					
e-mail: kashi-y@yamaguchi-u.ac.jp					
Tel&Fax: 083-933-5595					
オフィスアワー					
開始時点に伝える。研究室は経済学部C棟 C213。					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000003
開設科目名	理論経済学研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	山田 正雄			区分	
授業の概要					
経済成長理論の基礎					
授業の一般目標					
経済成長理論の基礎を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 経済成長理論の基礎を理解する。					
成績評価方法(総合)					
参加姿勢、課題の報告、出席により評価します。					
教科書					
内生的経済成長論 I / R.J. バロー、X. サライ マーティン:九州大学出版会, 1999					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000004
開設科目名	Economic Statistics			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	野村 淳一			区分	
授業の概要					
Simulation models have been widely used in the design of public policy. For example, simulation models could answer questions like the following: (1) What is the impact of an increase in the federal budget deficit on the level of interest rates and the rate of inflation? (2) How does the trade deficit affect the level of employment and the bargaining position of labor unions? (3) What is the relationship between the quantity of money, say M1, and the level of economic activity? This course focuses upon econometric simulation models. Therefore we explain how to estimate a single equation model at first. For most economic decision or choice problems, we want to know the relationships between economic variables, which are suggested by economic theory. These are called economic models. These economic models involve questions concerning the signs and magnitudes of unknown and unobservable parameters, such as price elasticities and multipliers.					
授業の一般目標					
One of our goals is to give you some idea of how we introduce parameters into an economic model and how we estimate them. Then we discuss the construction, evaluation, and analysis of simultaneous equation models and their use in policy analysis and forecasting. At the end of this course we will construct our own simulation models and evaluate their dynamic behavior.					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 基本的な統計学の理論を理解している。					
思考・判断の観点: 現実の経済現象を理論的に考察し、政策や外的ショックの効果を判断できる。 統計学の手法を正しく適用し、結果を判断できる。					
技能・表現の観点: 発表資料を効果的に作成し、明快な発表ができる。 統計データを正しく処理し、形式的にも十分に整った報告書・論文が作成できる。					
成績評価方法(総合)					
課題レポートで判定する。 評価割合は 100%。					
教科書					
Basic Econometrics / Damodar N. Gujarati : McGraw-Hill , 2003					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000005
開設科目名	Program Evaluation			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	馬田 哲次			区分	
授業の概要					
This course will set out the basic concepts and conceptual framework of program evaluation.					
授業の一般目標					
1. To understand the basic concepts and conceptual framework of program evaluation 2. To understand evaluation approach and method					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
Evaluation will be made emphasizing on presence, presentation and report.					
教科書					
EVALUATION A Systematic Approach 7th Edition / Peter H. Rossi, Mark W. Lipsey, Howard E. Freeman :Sage Publications , 2004					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
umada@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000006
開設科目名	経済政策論A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	塚田 広人			区分	
授業の概要					
<p>経済政策の基本問題である効率性と公正性のトレードオフの問題を、ジョン・ロールズの『正義論』によって原理的に考える。この考察は高度経済成長とそれに続く低成長期、また長期不況期を経て、日本がこれからどのような社会を目指していくのかを考えるための一つの原理的なヒントを与えると期待される。</p> <p>具体的には、『正義論』の第一部理論の第一章から第三章を各節ごとに読み進める。(第一章 公正としての正義、第二章 正義の諸原理、第三章 原初状態)</p>					
授業の一般目標					
本講義での考察を通して、各国の経済社会がどのような社会を目指すべきかを考える手がかりを得ることを目指す。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席と期末レポートにより評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
A棟424号室 083 - 933 - 5558 ht@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
原則として水曜日 1時半～3時(会議等で不在の場合あり。他の時間でも在室時はいつでも可。)					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000007
開設科目名	金融経済と貨幣理論研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	兵藤 隆			区分	
授業の概要					
2009年度前期は開講しません。					
授業の一般目標					
2009年度前期は開講しません。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
2009年度前期は開講しません。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
2009年度前期は開講しません。					
連絡先					
thyodo@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000008
開設科目名	公共経済研究A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	仲間 瑞樹			区分	
授業の概要					
大学院程度の公共経済学理論を講義する。					
授業の一般目標					
学部で履修したマイクロ経済学、マクロ経済学、財政学、経済数学を利用しながら、課税の経済効果、公的年金の経済分析、国債の経済効果などを理解すること。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 学部で履修したマイクロ経済学、マクロ経済学、財政学、経済数学を、経済分析のために利用できること。					
成績評価方法(総合)					
出席、問題演習などから総合的に判断。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
講義内で紹介する。					
オフィスアワー					
講義内で紹介する。					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000009
開設科目名	地域社会福祉論研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	鍋山 祥子			区分	
授業の概要					
<p>「地域」や「福祉」をキーワードにして、私たちの生活社会のあり方について考える。</p> <p>授業で読み合わせる文献は、受講者の問題意識を優先して選定し、授業は演習形式でおこなう。具体的には、毎回、受講者にレジュメを作成してもらい、それを元にした議論を全員でおこなう。また、ジェンダー・パースペクティブを有効な方法論として使用する。</p>					
授業の一般目標					
<p>身近な生活に学問がどのように関わっているのかを、当事者意識を持って考察することができるようになること。社会と個人のつながりや、社会政策と私たちの生活のつながりを理解すること。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
<p>授業への参加度合いや討論の内容など、総合的に判断し評価する。</p> <p>演習形式の授業のため、出席は履修の必要条件である。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
<p>地域、福祉、高齢化、ジェンダー、などに興味のある方の参加を望みます。</p>					
連絡先					
Eメール:nabeyama@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
水曜日3/4限					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000010
開設科目名	欧米経済史研究A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	古賀 大介			区分	
授業の概要					
20世紀前半の国際金融を実際に動かしてきたキーパーソンたちに注目し、その行動を分析する					
授業の一般目標					
国際金融を実際に動かしてきた人物たちが何を考え、どう行動してきたのかを学ぶ					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
報告・出席などを総合的に判断して評価。レポートなどは課さない。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
高度な日本語能力と英語能力を求める					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000011
開設科目名	Specialization Course			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	濱島 清史			区分	
授業の概要					
<p>比較研究をすることによって対象への認識は深まるものであり、何らかの比較のないところでは対象の位置づけ自体が定まらなくなってしまう。本講義では労使関係の国際比較を行なうことによって、各自の専門(関心)領域に幅をもたせてもらうことをねらいとする。</p> <p>先進国 日本 途上国の三段階の労使関係論を体系的に構築していく魁とならんことを期待したい。</p> <p>なお、受講生の希望によっては、日本的雇用慣行、キャリア形成の議論にてもよい。以前は、日本・中国・カナダの労使関係に関する基本文献を数本輪読してから、今野浩一郎(1998)『勝ち抜く賃金改革』日本経済新聞社、を輪読し、さらに各自の発表を自由課題で行なった。</p>					
授業の一般目標					
世界の主要国の労使関係の基本事項について認識すること。または日本的雇用慣行に関して、社会通念に囚われない、統計と先行研究に基づいた社会科学の議論を理解し、他国と比較検討できること。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
講義形式とゼミとは自ずと異なる。無断欠席や発表やレポート提出を怠った場合は、落第もありうる。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
共に学ばん！					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000012
開設科目名	観光経済研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	齋藤 英智			区分	
授業の概要					
観光に関連する経済理論を学び、観光の現代的課題について検討する。とりわけ、持続可能な観光のあり方を検討課題とし、エコツーリズムやグリーン・ツーリズムなどの概念を理解することによって、資源の持続性や環境的側面を考慮した観光の持続的発展について考える。					
授業の一般目標					
持続可能な観光に関する理論や考え方を理解するとともに、経済学的なアプローチによって観光の現代的課題を考察することができる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 持続可能な観光の概念を踏まえた議論ができる。					
思考・判断の観点: 観光を取り巻く現状を理解し、観光のあるべき姿に対する意見を述べるができる。					
関心・意欲の観点: 自らの疑問点を分析し、報告・討論することができる。					
態度の観点: ディスカッションに積極的に参加し、発言ができる。					
技能・表現の観点: 課題に対する多面的な角度からのアプローチができる。					
成績評価方法(総合)					
出席(30%)、報告(50%)、参加姿勢・発言内容など(20%)により総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
報告者が提供するトピックでは、資料の収集やデータ分析などを各自で行ってもらい。ワード、エクセルなどのソフトを利用し、分析できることが望まれる。					
連絡先					
hidetomo@yamaguchi-u.ac.jp					
メールで質問や問い合わせを行う際は、メールの件名に“【観光経済研究】 ”と名前を必ず明記してください(件名がない場合はメールを破棄します)。					
オフィスアワー					
研究室(経済学部A棟4階425)在室中はいつでも研究室に来ていただいて結構です。					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000014
開設科目名	海運論研究A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	澤 喜司郎			区分	
授業の概要					
国際海運経済学の諸理論について学習します。					
授業の一般目標					
国際海運経済学の諸理論の理解を目指します。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 国際海運経済学の諸理論を理解する。					
成績評価方法(総合)					
成績評価は、学期末のレポート(10,000字以上)によって行います。					
教科書					
海運国際経済学 / 澤喜司郎; 海文堂出版, 2004					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000015
開設科目名	交通論研究A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	澤 喜司郎			区分	
授業の概要					
交通現象や人々の交通行動を研究するための基礎としての交通計量経済学について学習します。					
授業の一般目標					
交通計量経済学の諸手法の習得を目指します。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 交通計量経済学の諸手法を習得する。					
成績評価方法(総合)					
成績評価は、学期末のレポート(10,000字以上)によって行います。					
教科書					
交通計量経済学(改訂版) / 澤喜司郎:成山堂書店, 2000					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000016
開設科目名	国際産業研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	河野 眞治			区分	
授業の概要					
主要産業の国際競争の特徴について学ぶ。取り上げる産業は出席者が決める。基本的には出席者のレポートとそれに基づく討論の形式で進める。					
授業の一般目標					
主要産業の国際競争について、輸出、直接投資、M&Aなどの活動の特徴について学ぶ。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 国際競争の実態を知る。					
思考・判断の観点: 競争の背後の論理について理解する。					
技能・表現の観点: レポート作成能力を磨く。					
成績評価方法(総合)					
レポートと討論で評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
水曜 10:00-12:00					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000017
開設科目名	東アジア経済研究A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	尹 春志			区分	
授業の概要					
東アジアの経済発展の種々の論点について学ぶ。					
授業の一般目標					
東アジアの経済発展がどのようなものであり、どのような問題を抱えているのかを理解する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席・討論への参加度、レポートで総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000018
開設科目名	可能世界論研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	正宗 聡			区分	
授業の概要					
<p>「可能世界」=フィクション世界と捉えてください。今期は、映画なり小説に表現されたフィクション世界の「時間」について考えてみます。取り上げる映画や小説については、断片的な接触に留まりますが、あくまでそれらを題材にして考察を進めていきます。(理論だけの話は退屈ですから。)</p> <p>とはいえ、フィクションに登場する「時間」の問題について、さまざまな研究者が論文(英語)として書いたものも読んでいきます。</p>					
授業の一般目標					
<ol style="list-style-type: none"> 1 「映画の時間」、「小説の時間」について、いづれでも知識を得ること。 2 「時間」の問題について、自分の意見をどんどん発言し提示できるようになること。 3 英語で書かれた研究論文を読むことに少し慣れること。 					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:「映画や小説における時間の問題」についての先行研究にいづれでも触れること。</p> <p>思考・判断の観点:「小説の時間」についての先行研究に対して、賛成であれ反対であれ、自らの考えを積極的に提示していくこと。(講師も受講生との討論を楽しみにしている。)</p>					
成績評価方法(総合)					
授業への参加度、積極的に、論理的に自らの考えを提示していくことができたかどうか。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
毎回、しっかりと予習してきてください。					
連絡先					
経済学部内、研究室					
オフィスアワー					
未定					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000019
開設科目名	中国経済研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	陳 建平			区分	
授業の概要					
改革開放20年、中国が大きな変貌を遂げた。その中国経済の現在の到達点を文献等の精読を通して把握し、21世紀の中国経済の展望について考える。					
授業の一般目標					
今日の中国経済の成長と社会主義計画経済時代の経済発展との関連性について正しく理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 中国経済の現状や課題について深く理解している。					
思考・判断の観点: 中国経済の現状や課題について自らの考えを持つ。					
関心・意欲の観点: 中国経済に関連する事柄に関心を持つ。					
成績評価方法(総合)					
報告とレポートによって評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000020
開設科目名	東アジア社会経済研究A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	李 海峰			区分	
授業の概要					
中国の市場経済発展と東アジア社会経済の構造変化を中心に分析し、検討する。					
授業の一般目標					
授業の一般目標 中国の市場経済発展と東アジア社会経済の構造変化の研究分析を通して、経済、経営理論、研究方法を習得してもらう。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席、授業態度、レポート、					
教科書					
参考書					
メッセージ					
充実しておもしろい学問の道を探求しましょう。					
連絡先					
オフィスアワー					
研究室にいる時、いつでもよろしい					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000021
開設科目名	政治理論研究A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	渡邊 幹雄			区分	
授業の概要					
政治とはなにか。人間の生活において、政治という営みはどのような意味をもつのか、を平明に説明してゆく。政治を学問的に理解することをめざしますので、新聞紙面で学習できるようなことについて講義する予定はありません。政治家になれるとか、次はだれが総理大臣になるとか、次の選挙ではどの政党が勝つか、そのような知識を期待している人には向かない授業です。					
授業の一般目標					
人間にとって政治とはなんなのか。政治を学問的に考えるとどのようなことなのかを理解できるようにすることが、この授業の一般的な目標です。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
成績はすべて期末試験によって決定します。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
授業終了後の一定時間ならば、いつでも結構です。					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000022
開設科目名	憲法研究A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	立山 紘毅			区分	
授業の概要					
憲法学の諸問題について、きたるべき学位論文執筆に備えて必要な知識および思考方法を学ぶため、受講者と協議の上、決定する。					
授業の一般目標					
同上					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
受講者の受講姿勢を総体として評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
tateyama@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
特に定めていないので、上記のメールアドレスに連絡して、適宜面談可。					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000023
開設科目名	医療法制度研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	立山 紘毅			区分	
授業の概要					
医療と法をめぐる諸問題について、きたるべき学位論文執筆に備えて必要な知識および思考方法を学ぶため、受講者と協議の上、決定する。					
授業の一般目標					
同上					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
受講者の受講姿勢を総体として評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
tateyama@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
特に定めていないので、上記のメールアドレスに連絡して、適宜面談可。					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000024
開設科目名	憲法研究C			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	梶原 健佑			区分	
授業の概要					
<p>憲法学(行政法学との関連領域を含む)の諸問題につき、理論的検討を加える。内容の詳細は受講生の希望も踏まえて決定する。 受講生による報告、参加者によるディスカッションという形式で行う。</p>					
授業の一般目標					
<p>理論的な問題を扱った専門的な論文あるいは判例・判例評釈を批判的に検討する作業を通じて、物事を様々な角度から批判的に分析する力を身につける。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 扱う論点をめぐる情報を正確に認識し、その問題点を理解できる。 思考・判断の観点: 論点の所在を発見し、関連する判例・学説を批判的に分析・検討できる。 関心・意欲の観点: 政治・社会の様々な問題にアンテナをはり、憲法学の視点から諸問題を分析しようという積極的主体性をもつ。 態度の観点: 自分なりの見解を形成するために、多様な資料を集めて読み込み、あるいは講義内で議論に積極的に参加することができる。 技能・表現の観点: 報告担当時には、自ら調べたこと・考えたことを、他者に分かりやすくプレゼンテーションできる。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>平常点による。試験やレポートは行わない。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
<p>興味・関心、意欲のある方の参加を歓迎します。</p>					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000025
開設科目名	民法研究A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	平中 貫一			区分	
授業の概要					
契約の正義					
授業の一般目標					
契約の正義を探求する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
報告による。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000026
開設科目名	民法研究C			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	三間地 光宏			区分	
授業の概要					
民法に関する判例・裁判例を検討する。					
授業の一般目標					
判例・裁判例を分析する能力を身につける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 判例・裁判例を読んで理解できるようになること。					
思考・判断の観点: 判例・裁判例を分析・検討する能力を身につけること。					
関心・意欲の観点: 報告を担当する場合には関連する判例や文献を十分調べてくこと。					
態度の観点: 報告があたってない場合でも積極的に発言すること。					
成績評価方法(総合)					
平常点による。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000027
開設科目名	民法研究E			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	油納 健一			区分	
授業の概要					
<p>民法が対象とする多くの法律問題を解決するためには、民法典上の規定を解釈しかつ適用するという作業が必要である。しかし、日本民法典は明治に施行された法律であるためいくつかの規定が時代に適しにくくなっていること、あるいは複雑な現代社会においては起草者が予想していなかった法律問題も生じていることから、判例は今日ますます重要になってきていると言えよう。そこで、今日の民法上の法律問題を解決し、かつ今日の民法を知るためには、判例の検討が必要と考えられることから、この授業では、日本民法典(民法の規定)と従来の判例・学説を踏まえた上で最近の判例を検討しようと思う。</p>					
授業の一般目標					
法学の基礎知識と、法的に考える能力を身につける。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
<p>出欠や遅刻早退の有無・報告内容・発言内容・関心態度などを総合的に判断して、評価する。</p> <p>3回以上無断で欠席した者には、単位を認定しない。また、学習意欲のない者・他の受講生に迷惑をかける者・教官の指示に従わない者にも、単位を認定しない。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
yuno@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
毎日研究室にいる。在室中は急用がある場合を除きいつでも相談に応じる。					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000028
開設科目名	刑事法研究A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	安里 全勝			区分	
授業の概要					
刑法総論はどのような内容を持つかを理解して貰う。刑法の意義、性質、機能、犯罪の成立要件、構成要件論、違法論、責任論、共犯論の順に考察していく。					
授業の一般目標					
刑法総論の内容を考察することにより、刑法総論の学問的体系を理解して貰う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 刑法総論の内容について理解して貰う。刑法総論がどのような学問的体系を持つのかを理解して貰う。					
思考・判断の観点: 法的思考という観点から、刑法総論の具体的事案を考察し、刑法総論が具体的事案の解決にどのように適用されているかを見ていく。					
成績評価方法(総合)					
レポート、出席					
教科書					
刑法総論 / 安里全勝:成文堂, 2009					
参考書					
演習ノート刑法総論(全訂第3版) / 齊藤誠二編:法学書院, 2008					
メッセージ					
予習・復習をして欲しい。 毎回出席すること。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000029
開設科目名	企業法研究C			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	中村 美紀子			区分	
授業の概要					
本講義では、企業法の中でも改正が進む会社法について研究する。会社法重要判例の報告にもとづいて会社法制度全般について考察する。					
授業の一般目標					
履修者が会社法制度の仕組みについて理解し、判例を通じて法解釈学にも接することで、現代企業の特質、およびその問題点を明らかにすることを目標とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
レジュメの作成、プレゼンの工夫、報告内容、議論内容を総合的に勘案する。					
教科書					
テキストブック会社法、/ 末永敏和[編著]:中央経済社, 2006 会社法判例百選 / 江頭憲治郎他[編]:有斐閣, 2006					
参考書					
メッセージ					
2009年度版六法を必携してください。小型のもので構いません。 履修者は、会社法関連のテーマ・判例を中心に、自己の関心・問題意識から、とくに本講義で検討したい点をいくつか考えておくこと。					
連絡先					
授業開始時に連絡します。					
オフィスアワー					
火曜日 12:50 14:50					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000030
開設科目名	企業法研究A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	吉川 信将			区分	
授業の概要					
企業組織・活動を規制する法令は近年大きく変貌した。また、依然として企業不祥事は後を絶たない。会社法を中心として、企業組織・活動を規制する法令の改正・立法の趣旨や現在の運用状況等を考察する。					
授業の一般目標					
会社法等の立法趣旨や現在の運用状況につき基本的な理解力を身につける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 旧会社法等の問題点と改正に至るまでの経緯、改正後の運用状況と新たな問題点につき概要を理解する。					
思考・判断の観点: 実際の事件や判例を踏まえ、法令をどのように適用するのが適切か考える力を養う。					
関心・意欲の観点: 重要と思われる事件・判例を積極的に探索し、問題点を自ら検討する姿勢を養う。					
成績評価方法(総合)					
授業への積極的参加度を中心に評価する(指示されたレポートの作成やそれに基づく授業中の発表だけでなく、積極的に討論に参加したかどうかも踏まえて最終的評価を決定します。)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
参加者の希望に配慮するとともに、実際の進行状況に合わせて、授業計画はフレキシブルに修正します。					
連絡先					
経済学部A棟413研究室					
オフィスアワー					
火曜日12:50~14:20					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000031
開設科目名	国際経済法研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	土生 英里			区分	
授業の概要					
<p>国際経済法の概要と個別法の枠組み、適用状況を研究します。</p> <p>国際経済法は WTO 協定が基本的な枠組みになります。</p> <p>従って、教材は全て英語になります。講義は必要に応じて英語で実施します。</p> <p>世界貿易機構の仕組み、法的枠組みを学び、国際的な通商・経済活動において、国際経済法がどのように機能するか、具体的なパネル裁定事例を研究しつつ、理解を深めます。</p>					
授業の一般目標					
国際経済活動における国際的ルールを習得します。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 国際法の枠組み理解、国際法の限界への提言					
成績評価方法(総合)					
<p>出席と講義への積極的な参加と、ゼミレポートを総合評価します。</p> <p>ゼミレポートは英語で作成することを義務付けます。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000032
開設科目名	Specialization Course			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	土生 英里			区分	
授業の概要					
This course will provide basic knowledge about public administration.					
授業の一般目標					
The objective of this course is to understand basic theories and practices related to public administration.					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
Presence in the classroom is essential. Students should participate actively in the discussion in the classroom.					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
e.habu@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
Mon. - Wed Available time in between lectures and seminars.					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000033
開設科目名	雇用関係法研究A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	柳澤 旭			区分	
授業の概要					
雇用関係法と社会保障法との関係について研究する。具体的には医療保険制度を対象とする。					
授業の一般目標					
雇用関係、労働者と非労働者との違いにおける医療保険制度のありかたの問題点を検討する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 現行法制の理解					
思考・判断の観点: 問題点の究明					
成績評価方法(総合)					
教科書					
未定(受講者と相談して決めたい)					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000034
開設科目名	行政法研究A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	上杉 信敬			区分	
授業の概要					
行政に関する法的諸問題について考察する。その際どのような領域、テーマをどのような方法で行うかについては参加者の問題意識や関心を持つ領域、テーマなどを聴いた上で決めて生きたい。進行の仕方もその中で具体化する。					
授業の一般目標					
行政に関する現象に関して、その法的側面に主要な焦点を当てて深める。現代の問題状況と切り結ぶテーマが設定されることを期待する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
講義の際の出席状況、報告や質疑応答、レポートの内容などを総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
いろいろ行政と法について考えて行きましょう。					
連絡先					
内線 5588					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000035
開設科目名	税法研究A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	安住 修一			区分	
授業の概要					
所得税法、法人税法、消費税法、国税通則法などの基本知識を習得していることを前提として、ケーススタディ、判例研究を通じて、税法的な思考に慣れ、応用力を習得することを目指します。					
授業の一般目標					
実践的な文献やケーススタディ、判例研究を通じて、税法のより広く深い理解を目指します。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席状況、受講態度等を総合的に評価します。					
教科書					
日本が生まれ変わる税制改革 / 森信茂樹: 中央公論新社 図説日本の税制: 経緯詳報社, 20年度 ケースブック租税法 / 金子宏等: 弘文堂					
参考書					
メッセージ					
税法の基本的な知識を持ち、理解があることを前提として授業を進めます。					
連絡先					
(TEL)083-933-5580 (メール)azumi@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
月曜日 10時30分~12時、水曜日 10時30分~12時					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000036
開設科目名	行政法研究C			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	石 龍潭			区分	
授業の概要					
日本の行政をめぐる状況は、一方では新自由主義の下で“小さな政府”論と、他方における“地方分権”という、二つの潮流のただ中にある。この講義では、こうした状況を踏まえながら、具体的な問題を素材にして行政法学における地方自治と地方分権を考えていく。					
授業の一般目標					
具体的な事例に対して、行政法学の見地から説明・分析する知識や能力を身につけてもらいたい。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席、レポート等による。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
絶えず、行政をめぐる情報に注意を向けて欲しい。					
連絡先					
質問等のある学生は、気軽に私の研究室に来てください。 (研究室:経済学部A棟408室)					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000037
開設科目名	国際メディア研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	MARC LOHR			区分	
授業の概要					
国際比較に基づいて主要マスメディアの歴史的発展、市場の現状や将来性について理論的に分析する。					
授業の一般目標					
媒体論的アプローチによってマスメディアの特質を分析する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: マスメディアの歴史的発展と市場構造を理解する。					
思考・判断の観点: マスメディアの媒体としての役割について判断ができる。					
関心・意欲の観点: マスメディアに包括的に関心を持つ。					
態度の観点: 自分の研究分野にマスメディアを活かす。					
技能・表現の観点: 専門的レベルでマスメディアに関して議論ができる。					
成績評価方法(総合)					
授業の参加度(40%)+レポート(60%)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000038
開設科目名	アジア経済研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	河村 誠治			区分	
授業の概要					
アジアとは何で、アジア経済の特徴は何なのか、そしてアジア経済はどのように発展していくのかについて、中国などの東アジアの開発独裁や官僚主導型の発展と、インドに見られる市場化による発展という二つの特質と二つの対極軸を想定し、中国とインドの経済発展の比較検討するとともに、アジアにおいて両者を重ね合わせたような経済発展が可能なものかについて講義する。					
授業の一般目標					
単なる諸論文の解釈だけでなく、それをもとに新たな論文レポートを書き上げるスキルと知識、そしてその応用を身につける。(ものを各にも一定のスキルと知識、そしてその応用が不可欠であるということに気づくことを目標とする。)					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: アジアの経済発展を説明できる。					
思考・判断の観点: アジアの経済発展の原動力を考えることができる。					
関心・意欲の観点: 疑問点を探し出し、報告・討論できる。					
成績評価方法(総合)					
期末レポート80%,出席20%。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000039
開設科目名	財務諸表の基礎研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	篠原 淳			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000040
開設科目名	計量経済学研究A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	朝日 幸代			区分	
授業の概要					
<p>経済理論を現実の経済および社会データを用いて、検証できるために必要な基本となる分析ツールを取り扱う授業である。特に、重回帰モデルの理論とその応用方法について解説し、パソコンを用いた実習形式の授業とする。目的とする分析テーマに合わせて、統計データを収集し、実際に推計を行い、推定結果についての評価までをレポートとして作成する。</p>					
授業の一般目標					
<p>重回帰分析の基礎的な理論を理解する。 経済理論を現実のデータを用いて検証する。 計量経済学的手法を用いた研究を分析結果をみて、理解できる。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:基本的な計量経済学の理論を理解している。 データ制約が存在する場合、どのような対処方法で分析可能であるかを理解している。 思考・判断の観点:現実の経済現象を理論的に考察し、政策や外的ショックの効果を判断できる。 計量経済学的手法を正しく適用し、結果を判断できる。 態度の観点:実習講義として、自らが学ぶことが極めて重要であることから、積極的に粘り強く課題に取り組むことができる。 技能・表現の観点:レポートを効果的に作成できる。 短時間にPCの扱い方をマスターしながら、統計データを正しく処理することができる。 内容、形式ともに十分に整った報告書・論文が作成できる。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>講義中に何回か出す課題のレポート(評価比率30%)と定期的に講義時間以外を用いて作成していただくレポート(評価比率70%)によって評価する。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
<p>レポート作成に必要なマイクロソフト word や Excel の知識を持っていること(同様な機能を持つアプリケーションも可)を前提とします。また、計量分析のためのアプリケーションは講義中に指示し、指導します。様々な課題に粘り強く取り組んでいただきたいと思います。</p>					
連絡先					
asahi@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000041
開設科目名	外国文献研究A			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	宮崎 充保			区分	
授業の概要					
<p>グローバリゼーションに関して社会的観点から諸現象を英語で読んで、問題点を議論します。グローバリゼーションは経済はもちろん社会のさまざまな面で世界に変革を迫っています。その変革を、定義、リスク、伝統、家族、民主主義の観点で、かつてブレア政権のブレーンだった社会学者の Anthony Giddens の論述に従い、読み進めます。</p> <p>学生中心の授業の形態を取ります。そこには、今後、必要なプレゼンテーションやハンドアウトの書き方が当然、含まれます。</p> <p>This course will deal with "globalisation." Globalisation that is in progress has changed various phases of our life, not to mention world economy. Anthony Giddens, once a right hand of the Blair regime, refers to globalisation in terms of a great change that ever happened in all history, change in the social and economical system around the world, change in tradition, family, and the way of democracy.</p> <p>In class, student participants are centered, making presentations with their handouts and discussing issues in question. This is not a course for translating English into Japanese.</p>					
授業の一般目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・和訳抜きで、全体が捉えられるような reading を行う。 ・Main idea, detail こうしたものの区別をしながら論点を抽出する。 ・ハンドアウトの書き方、プレゼンテーションの仕方を向上させる。 <p>-Aims: comprehend issues in question through English, not in Japanese by making clear the main ideas and detail that A.Giddens discusses; improve participants' writing of handouts and making of presentations.</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: “グローバリゼーション”が惹き起こした社会の変化 Economic and social change brought about by "globalisation"</p> <p>思考・判断の観点: グローバリゼーションの捉え方 Gaining viewpoints of globalisation</p> <p>関心・意欲の観点: 現代社会に関心を持つ Becoming interested in the contemporary society that is going on worldwide</p> <p>態度の観点: 文献をしっかりと読み込む習慣の形成 Forming the habit of studying economic and sociological literature</p> <p>技能・表現の観点: ハンドアウト作成 プレゼンテーション技能 Making handouts in English Making presentations in either Japanese or English</p>					
成績評価方法(総合)					
<ul style="list-style-type: none"> ・欠席 4 回で欠格 ・ハンドアウト(課題)とプレゼンテーション ・授業でのパフォーマンス <p>If you make four absences, you will be kicked out.</p> <p>For your self-study, you will be allocated the assignment of making an outline of the chapters.</p> <p>Assessment is also made based on your performance in class.</p>					
教科書					
Runaway World / Anthony Giddens , 1999					
参考書					
メッセージ					
<p>しっかり英語を勉強してください。</p> <p>授業の合間に研究学徒としての英語の学習の仕方を伝えます。</p> <p>Study English hard if you are a non-English-speaking person, and if you are, I require you to delve further into the issues proposed by the author and study them.</p>					

連絡先

mmy@yamaguchi-u.ac.jp

オフィスアワー

Office hours are anytime when I am available.

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000042
開設科目名	アジア環境政策研究			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	陳 禮俊			区分	
授業の概要					
<p>18世紀の産業革命以来、ヨーロッパを中心とした工業先進国は技術革新によって、工業生産性の向上を可能にし、驚異的な経済発展をもたらした。この産業革命は伝統的な自給自足の農業社会を、財貨に対する需要拡大を引き起こした工業化社会へと変換させ、人々に多大な富と豊かな生活様式を可能にした。それゆえ、発展途上国にとって、工業化は経済発展を加速させ、生活水準を向上させるために、最も有効な手段の一つだと考えられている。しかしながら、多くの発展途上国では、工業化過程の隣接段階では、環境保全のための政策的努力はしばしば無視され、キャッチアップを優先する産業政策は、汚染集約型化学工業を優先して推進されるために、社会資本では産業基盤を優先して、生活基盤を軽視する傾向にある。環境への配慮を欠いたまま進められた急速な工業化や面的開発は、様々な公害・環境問題を引き起こした。一方、地球規模の環境問題の拡大に伴って、国際協力による緩和への道を探ることは人類共通の課題になりつつある。特に、地球温暖化問題に関する国際的取組みは、科学的知見の集積をふまえて、1980年代に国際政治問題化して以来、集約的に行われてきたが、発展途上国の義務に関しては、なかなか合意が得られない。しかしながら、今後、発展途上国、特にアジア地域が急速な経済発展に伴う二酸化炭素の排出量を急増させると予想されることから考えても、途上国も、「持続的な開発を損なわない範囲で、地球温暖化の抑制に向けて努力しなければならない。</p>					
授業の一般目標					
<p>本授業は「気候変動」に関する国際環境保全の政策を中心に論ずることにしたい。そのねらいは、受講者における「国際公民」の意識と義務を認識させると共に、国際環境保全の重要性をアピールする。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
<p>成績評価は基本的に、出席(40%)、報告(60%)で行う。ただし、合格基準点に達していない受講者に対して、救済措置として課題レポートを要求する場合があります。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
<p>研究室: 経済学部 A 棟 電話: 083-933-5526 E-mail: lichun@po.cc.yamaguchi-u.ac.jp</p>					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000043
開設科目名	文化心理学研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	TAKEMOTO TIMOTHY ROLAND SCOTT			区分	
授業の概要					
<p>人間は自分の個人的な価値観に基づいて、自分の個人的な利便性を追及するために、合理的な経済活動を行っており、社会的な圧力がなければ誰もこのような合理的な個人主義者になるという欧米的な考え方が、全ての文化経済に当てはまると思われてきた。社員はできるだけ自分の能力を發揮できる職場を求めたながら、自分の能力を雇用者に売っているというのが雇用関係の基本だとも主調される。一方では、日本・中国などアジア諸国では、先述した欧米合理個人主義に当てはまらない経済的システムが形成されてきた。</p> <p>近年の文化心理学という実験・社会心理学は、個々人間の独立性・価値観の独立性・合理性を欧米諸国の文化思想(神話)に過ぎないということを実証的に論じ始めた。本授業では、皆さんの経済学的研究との関係を考えながら、このような新しい社会心理学的な実験研究を紹介する。</p> <p>授業の一般目標</p>					
授業の一般目標					
<p>文化心理学の最新の実験的研究や下記の理論を理解すること</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 集団主義と個人主義がどのように定義されてきたか 2) 相互依存主義の新しい見解がどのような問題を呈しているか 3) 自己高揚の普遍性についての論争 4) アジア諸国における道徳(あるいはそのなさ) 5) 全体的・分析的思考の理論 <p>これらの研究が経済学的研究にどのように影響するかを考えることにある。</p>					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 文化心理学の理論を理解する					
思考・判断の観点: 文化心理学の理論を自らの経済学的研究に応用する					
技能・表現の観点: どのようにして自分の研究の心理的な前提の検証法					
成績評価方法(総合)					
演習への参加と自分の研究の発表で評価します。					
教科書					
参考書					
木を見る西洋人 森を見る東洋人、ノースベット:ダイヤモンド社, 2004					
Cultures Consequences / Geert Hofstede: Sage Publications, 2001					
日本人らしさの発達社会心理学 / 高田利武:ナカニシヤ出版, 2004					
文化行動の社会心理学 文化を生きる人間のこころと行動 / 金児 暁嗣, 結城 雅樹:北大路書房, 2005					
メッセージ					
話し合いながら、文化心理が心理・行動・経済へどのような影響を与えるかを考えましょう。					
連絡先					
http://nihonbunka.com					
にあるメールアドレスからメールしてください					
オフィスアワー					
083-933-5555 にお電話いただければいつでもどうぞ					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000044
開設科目名	中国近現代文化の研究A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	齊藤 匡史			区分	
授業の概要					
<p>本科目は近代日本の知識人たちが見た「中国」を辿りながら、日本人の中国認識を考察しつ、日本と中国の関係について考察を進め、中国近代を社会、文化の側面から考察し、中国「近代」を捉えようとするものである。</p>					
授業の一般目標					
<p>中国「近代」社会文化の特性を理解し、今日の中国理解、日中関係理解の一助とする。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:・中国が歩んだ「近代」について理解を深める ・日本人の中国理解の変遷を知る 思考・判断の観点:現代中国、今日の中国と日本の関係を理解することができる 関心・意欲の観点:参考となる文献や資料を収集することができる 態度の観点:担当した課題を責任を持って調べ発表できる</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>授業への貢献度、レポート、発表等総合的に評価する</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
<p>saito@yamaguchi-u.ac.jp</p>					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000045
開設科目名	国際観光政策			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	朝水 宗彦			区分	
授業の概要					
<p>International human mobility has continued to change throughout history. International tourism organizations, laws related to international visitors, scientific tourism management focused to inbound tourists, etc. have been developing over the years. For example, UNWTO has been restructured since the era of IUOTO to adapt to the social changes. Since the industrial revolution, Europe has been recognized as the largest tourism market. However, the number of tourists from the Asia Pacific region is growing rapidly. Tourism has become an important industry internationally and scientific research is needed for its comparison. For this purpose, TSA (Tourism Satellite Accounts) has been developed by former WTO, OECD, Eurostat and other international tourism organizations.</p> <p>国際的な人的移動は歴史的に変化を続けている。国際的な観光機関、国際的な訪問者に関する法律、インバウンド観光に関する科学的な観光マネジメントなどは長い年月をかけて形成されてきた。たとえば UNWTO は IUOTO の時代から社会の変化に対応した組織改革を続けている。産業革命以降、ヨーロッパは最大の観光市場とみなされてきた。しかしながら、アジア太平洋地域における観光客は急増している。国際的に観光が重要な産業になったため、比較のために科学的な研究が必要になってきた。そのため、たとえば TSA が旧 WTO や OECD、Eurostat、その他の観光関連の国際機関によって開発されてきた。</p>					
授業の一般目標					
<p>The aim of this class is to learn about tourism with using a basic-level textbook. From this class, students can learn introductory cases of human mobility in the world.</p> <p>この授業では初級レベルの英文テキストを使い観光について学ぶことを目標とする。授業では世界的な人的移動に関する入門的なケースについて学ぶ。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: The mid-term report aims to cover the contents of the textbook. You will learn about some international organizations, research methods and technical terms from this study.</p> <p>思考・判断の観点: The final report will require literature reviews to obtain more in-depth knowledge about tourism.</p> <p>関心・意欲の観点: As tourism industry contains various types of industries such as transportation, accommodation, travel agents and others (restaurants, event management, information etc.), extra studies outside of the textbook is also needed for further understanding.</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>Attendance will make up 30%, the mid-term assignment is 30%, and the final report is 40% for the evaluation.</p> <p>出席 30%、中間課題 30%、期末レポート 40%</p>					
教科書					
Human Mobility in Asia Pacific / ASAMIZU Munehiko ed.: Office SAKUTA, 2008					
参考書					
<p>観光政策・制度入門 / 寺前秀一:ぎょうせい, 2006</p> <p>多文化社会オーストラリアにおけるエスニック・ツーリズム形成過程に関する研究 / 朝水宗彦:くみびる, 2001</p> <p>World Travel and Japanese Tourists / ASAMIZU Munehiko: Gakubunsha, 2005</p> <p>Global Mobility / ASAMIZU Munehiko ed.: Kumpul, 2008</p> <p>Tourism and Sustainability: Development, Globalisation and New Tourism in the Third World / Martin Mowforth, Ian Munt: Routledge, 2008</p>					
メッセージ					
テキストは日本語訳もあります。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000046
開設科目名	企業管理組織の理論研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	長谷川 光圀			区分	
授業の概要					
組織論の基本原則と状況理論を理解する。					
授業の一般目標					
組織設計の戦略提示					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門的思考と戦略展開					
思考・判断の観点: 戦略と組織の関係の理解					
関心・意欲の観点: 質問					
態度の観点: 出席					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000047
開設科目名	人的資源管理の現代的課題研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	内田 恭彦			区分	
授業の概要					
今日の人的資源管理論(特にRBVを基礎理論として据えるHRM理論)についての位置づけと概要を理解し、合わせてレビュー論文の書き方を学ぶ。					
授業の一般目標					
人的資源管理論の歴史的展開に関する2つの著作を読み、HRMについての基礎知識を得ると共に、この10年間で研究が進んでいるリソースベースの人的資源管理論の概要と位置づけを明らかにする。またレビュー論文の要諦を理解することを目的とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: HRMについての基礎知識を得る。 レビュー論文の書き方を学ぶ。					
思考・判断の観点: 日本型経営、欧米型経営それぞれに機能的な人的資源管理の在り方について自分なりの考えを構築する。					
関心・意欲の観点: 大学院生として、授業内において生産的な発表と議論ができるようになる。					
成績評価方法(総合)					
人的資源管理論の歴史的展開に関する2つの著作を読み、HRMについての基礎知識を得ると共に、レビュー論文の要諦を理解することを目的とする。最後にレポートを書いてもらいます。					
教科書					
戦略的人的資源管理の実相 - アメリカSHRM論研究ノート / 岩出 博: 泉文堂, 2002 資源ベースのヒューマンリソースマネジメント / 伊藤健市: 中央経済社, 2008					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
y.uchida@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
特にオフィスアワーは設けません。質問などがある人は上記連絡先に、内容と希望日時をご連絡ください。					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000048
開設科目名	経営史の基礎研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	古川 澄明			区分	
授業の概要					
受講者の修士論文の作成を前提にして、受講者の経営学的基础知識を深める。					
授業の一般目標					
修士論文の作成に繋がるような授業を行うので、受講者と相談の上で、テーマを選択する。目標は、修士論文の基礎となる経営学基礎知識の修得に置く。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 経営学の専門知識の修得					
思考・判断の観点: 学術的論文を作成するための思考力や研究上のアイデア想像力を養うこと。					
関心・意欲の観点: 授業で取り上げる論題に対して、常に、積極的に関心を持ち、知識を深めようとする意欲が不可欠である。					
態度の観点: 授業は、パッシブな態度ではなく、ポジティブ、アクティブな姿勢が求められる。					
技能・表現の観点: 報告を行うことで、プレゼンテーション力を身に付けると同時に、論文の構想力を養うこと。					
その他の観点: 授業に自分の研究と結びつけた強い関心と、学ぼうとする意欲が求められる。					
成績評価方法(総合)					
受講態度を総合的に判断して評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
特定のテーマで修士論文を書くという明確な目標をもって授業に参加すること。					
連絡先					
学務					
オフィスアワー					
事前アポにより、随意。					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000049
開設科目名	国際経営の基礎研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	有村 貞則			区分	
授業の概要					
国際経営の基礎的理論を学習し、今後の展開可能性を探る。					
授業の一般目標					
1. 国際経営論の習得 2. 今後の展開可能性					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 既存の国際経営論を習得することができる					
思考・判断の観点: 理論的展開の可能性をさぐることができる。					
関心・意欲の観点: 国際経営に関心をもつようになる。					
成績評価方法(総合)					
レポート、発表、出席などによる総合評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
研究室在室中はいつでも可					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000050
開設科目名	投資論研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	城下 賢吾			区分	
授業の概要					
行動ファイナンスに関するテキストの輪読					
授業の一般目標					
行動ファイナンスの基礎知識の習得					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
報告、レポート、出席					
教科書					
株式市場と投資行動 / 城下賢吾・森保洋: 中央経済社					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000051
開設科目名	Decision Making			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	成富 敬			区分	
授業の概要					
<p>Decisions today are probably more complex and difficult than at any time in the past.</p> <p>To improve our decision making abilities, we should consider both how these decisions are made and how they should be made. In this course we will focus on;</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. decision-making process 2. decision models 3. mathematical models 					
授業の一般目標					
To improve our decision making abilities.					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
Exercises: 50%					
Attendance: 50%					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000052
開設科目名	経営数理計画研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	渋谷 綾子			区分	
授業の概要					
<p>制約条件と目的関数とで記述される数理計画問題のうち、特に線形計画問題について学習する。</p> <p>線形計画問題の解法そのものは Excel を用いた比較的理解しやすいものである。この講義では問題を定式化するまでの過程に重点を置く。</p> <p>なお、受講希望者に対し簡単な数学知識を問う試験を行い、その結果によって受講を再検討するよう促す場合もあろう。</p>					
授業の一般目標					
<p>アセット・アロケーションや為替相場での取引計画の解法のひとつに、問題をネットワーク図で表現したのち、数理計画問題として定式化する手法がある。</p> <p>1987年に Mulvey らによって提案された確率ネットワークを用いると、問題を線形計画問題として解くことができる。</p> <p>本講義では、資産配分問題を例として、将来の資産運用環境を表現した複数のシナリオを確率ネットワークで表現し、さらに、線形計画問題として定式化する方法について研究する。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:線形計画法に関する知識 シナリオ法の理解、分割論法の理解</p> <p>英文で書かれたこの分野の論文を読みこなせること。</p> <p>思考・判断の観点:資産運用での資産の増減、取引による資産の移動、キャッシュフローの整合性などをネットワーク図にどのように反映させられるか、ロジックをグラフィカルに表現し、さらに定式化する柔軟な発想力を求める。</p> <p>関心・意欲の観点:問題を数式で表現することへの関心は絶対に必要です。</p> <p>また、数値 数値同士の関わりなどについて日ごろから興味を抱いていることが重要です。</p> <p>定式化する問題文は日本語の比較的長い文章であることが多いので、日本語の読解力も必要です。</p> <p>一つの要因について、なるべく長時間考える習慣を身につけるとよいと思います。</p> <p>態度の観点:考える糸口は、ある程度、自分の力で発見することになります(他人が - 教員であっても - 説明して理解させることは不可能です)。</p> <p>その糸口が、当初、みつからなかったとしても、短気をおこさず、礼儀正しい態度を保ってください。授業回数が進行してから「自分にこの授業は必要ない」と感じた場合は、受講を中断してください。(中断意志や理由を伝える必要はありません)</p> <p>技能・表現の観点:Excel が使いこなせること。</p> <p>その他の観点:日本の大学初年時程度の数学の知識は必要です。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>内容の量に比して授業回数が少ないので、授業時間外にも学習時間を確保すること。</p> <p>授業時に、準備状況や理解度が表れるので、それらを総合的に評価する。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
shibuya@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
水曜日12時~13時。他在室中ならいつでも可。					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000053
開設科目名	Cost-Benefit Analysis			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	山下 訓			区分	
授業の概要					
<p>This course is intended for a student with a basic understanding of elementary economics who wish to learn how to conduct a social cost-benefit analysis. The term social benefit-cost analysis refer to the appraisal of a private or public project from a public interest viewpoint. Our class concerns itself mainly with the economic benefits and costs of projects, although it touches on the question of economic impact. The questions addressed are whether the benefits of the project exceed the costs or not.</p>					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
5518 yamasita@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
Tuesday, 12pm-1pm					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000054
開設科目名	医療簿記会計研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	山下 訓			区分	
授業の概要					
医療会計を学ぶ上で必要な簿記知識を習得していく。					
授業の一般目標					
財務諸表を見て、病院等の非営利組織の経営状況が最低限分かるようにする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
5518 yamasita@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
受講者と相談して決めます。					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000055
開設科目名	医療原価管理研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	中田 範夫			区分	
授業の概要					
<p>米国では1983年にメディケアに対して DRG/PPS が導入されている。この診断群別包括支払制度の導入と期を一にして病院で原価計算が普及・高度化している。これに対して、我が国でも PPS 採用病院は多いが、いわゆる製品別原価計算を採用している病院はそれほど増加していない状況である。このあたりを導入部分として、我が国病院における原価計算の内容を検討する。</p>					
授業の一般目標					
<p>一般企業における原価計算の役割と比較しながら病院原価計算の実態を学んでいく。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000056
開設科目名	医療・福祉経営研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	羽生 正宗			区分	
授業の概要					
<p>医療・福祉を取り巻く社会環境は厳しさを増している。今求められているのは、制度や経済、経営の基礎知識をもつ「常識的」医療者である。医療・福祉サービス機関は多様な専門職集団によって構成され、管理の難易度を高めている。このような競争環境、市場環境、組織環境の下、サービスの質を維持しつつ経営効率を追求する「医療・福祉経営」が強く要請されている。</p> <p>そのため、少子化・高齢化の中での医療・福祉経済の問題、医療・福祉サービスを取り巻く社会保障制度問題、診療圏や地域医療計画などの需要と供給問題、医療・福祉経営に必要な患者や利用者の満足、マーケティング、経営戦略等、医療・福祉経営について幅広く学ぶことが重要である。</p> <p>本講義では、組織として、利用者本位の安全で質の高い医療・福祉サービスを持続的に供給する「医療・福祉経営」のあり方を研究する。</p>					
授業の一般目標					
<p>本講義では、特に医療・福祉領域の経営者及び従事者やこれらの領域を対象とする企業・行政などに勤める社会人を対象に、明日の医療・福祉現場を担う専門職業人として必要な知識の習得を目指す。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:医療・福祉分野に関する基本的知識を前提にし、近年の医療・福祉経営問題、経営管理について、理解を深める。</p> <p>思考・判断の観点:近年の医療・福祉経営戦略と組織問題について、思考し判断できる。</p> <p>関心・意欲の観点:利用者本位の安全で質の高い医療・福祉サービスを持続的に供給する医療・福祉経営のあり方を研究する。</p> <p>態度の観点:人の話を良く聴くとともに、自分の気持ちや考え方を的確に表現し、礼儀正しい態度で望む。</p> <p>技能・表現の観点:授業内容を正確に理解し、書くことができる。</p> <p>積極的に発表の機会を利用し、自分の発想、考察を発表する。</p> <p>その他の観点:価値観の違う人と意見を交換することで、「相手を理解する」心を養うとともに、自分の意思・感情・思考を相手に正しく伝える力を身に付ける。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>試験は行いません。授業の出席は欠格条件とし、取組み姿勢(80%)、レポート(20%)等から総合的に評価します。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
<p>医療・福祉経営に興味のある方は是非受講してください。</p>					
連絡先					
<p>hanew@yamaguchi-u.ac.jp</p>					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000057
開設科目名	医療経済研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員				区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000058
開設科目名	医療・福祉経営特別研究B			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	非常勤 講師			区分	
授業の概要					
<p>社会保障制度の基本を学び、その中でそれぞれの施設がどのように変化してゆくことを求められているかを学びます。変化をする前に、それぞれの施設はどのような組織構造を持ち、その結果どのような問題が現在起きているかを概観します。組織経営には、組織構造・組織分化について経営者としてどのように考えていくかが基本です。一般の病院や施設での組織構造を参考に、望ましい組織構造を考えていきます。また、組織文化(風土)は醸成するのが困難だとされていますが、その組織文化はどのような手法で刷新できるかディスカッションをしていきたいと思ひます。変化をするということをポジティブに受け入れ、それが歓喜に変わるような組織経営ができるヒントを得ることがこの授業の目的です。</p> <p>医療福祉経営の中で、重要なことは技術職をいかに確保定着させるかです。さらに、その技術職がいまいきと働けるような経営手法を生み出せることが、経営の存続の鍵を握るともいっても過言ではありません。授業の中で技術職の特徴やその仕事に対する考え方を学びます。とくにこの授業では、看護師や准看護師など看護職の業務の成り立ちや目指している業務や今後求められる役割について討議したいと思ひます。</p>					
授業の一般目標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療福祉施設の現状と今後求められている役割を理解できる 2. 看護職が果たして来た役割や今後目指しているものを理解する 3. 組織経営のために必要な理論を学ぶ 4. 学んだことを生かして、組織の中で実際にマネジメント出来る能力を習得する。 5. 経営者として、組織の運営に創造的に関わることができる能力を養う。 					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 課題に基づくディスカッションを 30 分 2. 課題に基づく個人のワークのプレゼンテーションを 1 人5分ずつ (30 分) 3. グループ内での質疑応答と指導者のコメントで 30 分 4. 評価方法は、 グループ内での参加度や発言の量と質を評価する。(25 点) 個人ワークのプレゼンが理解しやすい内容であったか。講義の内容を理解していたかについて評価する。(50 点) 質疑応答に対する回答内容が的確であったかについて評価するとともに積極的に質問していたかについても評価する。(25 点) 					
教科書					
看護管理学習テキスト1看護管理概説 / 井部俊子: 日本看護協会出版会, 最新版					
看護管理学習テキスト7巻後制度・政策論 / 井部俊子: 日本看護協会出版会, 最新版					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
〒秋市椿3460 - 3 秋市民病院 看護部 0838 - 25 - 1200 内5020					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000059
開設科目名	現代マーケティングの基礎研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	武居 奈緒子			区分	
授業の概要					
<p>マーケティングとは、企業の対市場活動である。マーケティングの基本は、企業が消費者のニーズを把握して、それに適合する商品・サービスを提供することである。</p> <p>本講義では、マーケティングに関する基本的知識の習得と体系的に理解することを目的とする。</p>					
授業の一般目標					
マーケティングの基本的文献を講読し、マーケティングの研究方法与諸問題に対する知識を深める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
現代マーケティング論 / 高嶋克義・桑原秀史:有斐閣アルマ, 2008					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000060
開設科目名	流通システムの基礎研究			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	藤田 健			区分	
授業の概要					
<p>現代の流通は日々変化し、ますます複雑化する様相を呈している。たとえば、大手小売業者の成長鈍化、卸売業者の合併・統合、商社による流通資本の系列化、流通の国際化、物流技術の発展など、近年でも大きな変化が見られる。こうした多様で複雑な流通現象を理解するには、まず流通に関する理論的な視点を身につけることが必要となる。そのため、この授業は流通に関する基礎的な理論を習得し、理論的な視点から流通現象にアプローチする枠組みを獲得することを目的とする。</p>					
授業の一般目標					
<p>1.流通理論を体系的に修得する。 2.流通現象を理論的に理解する。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:流通理論を体系的に理解する。 思考・判断の観点:流通現象を理論的に説明できる。</p>					
成績評価方法(総合)					
報告内容、ディスカッションでの貢献、期末テストで評価する。					
教科書					
参考書					
1からの流通論 / 石原武政・竹村正明編著: 中央経済社, 2008					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000061
開設科目名	無形財商品の動向分析研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	柳田 卓爾			区分	
授業の概要					
サービス経済を題材にして、小論文・レポートを執筆するための基礎的な知識を学ぶ。					
授業の一般目標					
サービス経済を題材にして、小論文・レポートを執筆するための基礎的な知識を習得する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
宿題 プレゼンテーション、ディスカッションへの貢献度、小テスト、最終レポート等を総合して評価する。出席は、欠格条件である。					
教科書					
大学生のためのレポート・論文術,(講談社現代新書)/小笠原喜康:講談社,2002 新訳 経験経済 脱コモディティのマーケティング戦略/バイン & ギルモア:ダイヤモンド社,2005					
参考書					
メッセージ					
修士課程の学生が身に付けておくことが望ましい、基礎的な力を習得できることを目標に、頑張ってください。テキストは、各人の責任で準備して下さい。また、ノートパソコンを持参してもらうことがあります。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000062
開設科目名	プライベート・リスク・ファイナンス			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	石田 成則			区分	
授業の概要					
リスク・マネジメントの概念と手法を整理したうえで、製造物責任や公害補償責任を取り上げ、それに対応する保険システムとリスク・マネジメント手法の具体的活用について学習する。					
授業の一般目標					
テキストの輪読により、リスク・マネジメント手法の現実と、ファイナンシャル・リスク・マネジメントの中核をなす保険システムの理解を目指す。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: リスクマネジメントの専門知識					
思考・判断の観点: リスクマネジメントの思考方法					
成績評価方法(総合)					
レポートと平常点					
教科書					
リスクマネジメントと保険 / はりントン & ニーハウス、米山高生: 東洋経済新報社, 2005					
参考書					
メッセージ					
事業経営・プロジェクトを取巻くリスクや自然災害の事業への影響などに日頃より関心を持ち、新聞・雑誌などに目を通してリスク感覚を会得してほしい。実践的な授業を目指しており、知識を日常生活や職務に生かしてもらいたい。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000063
開設科目名	環境変化と管理会計の課題研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤田 智丈			区分	
授業の概要					
<p>管理会計の伝統的な理解では、経営は、経営陣が担う戦略策定、管理職が担うマネジメント・コントロール、現場が担うオペレーション・コントロールと、階層に分けられてきました。その中で管理会計が主に担うのはマネジメント・コントロールであり、戦略についてはそれを所与として受け入れるだけでした。しかし、90年代頃から戦略の重要性が高まるにつれ、管理会計の役割も戦略と密接に繋がり、戦略と一体化したマネジメントとして捉え直されるようになりました。そこでこの授業では、バランス・スコアカードと呼ばれる戦略的管理会計手法を中心として、現代の管理会計が抱える課題について検討します。</p>					
授業の一般目標					
<p>BSC(バランス・スコアカード)の考え方を身につけ、戦略をマネジメントへ落とし込むことや、財務パフォーマンス向上に繋がる財務指標と非財務指標の関連を考えることができるようになる。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 管理会計が抱える課題について理解し、戦略と結びついた管理会計を理解する。</p> <p>思考・判断の観点: 抽象的な理論を覚えるのではなく、実際のビジネスでどのように用いられているのか、どのような意義があるのかということを考え、使える知識に発展させる。</p> <p>関心・意欲の観点: 使える知識を身につけることで、ビジネスに対する興味を深める。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>授業での発表や議論、及び最終レポートで評価します。</p>					
教科書					
参考書					
<p>管理会計入門 新版(有斐閣アルマ) / 浅田孝幸 他: 有斐閣, 2005</p>					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000064
開設科目名	企業評価分析研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	米谷 健司			区分	
授業の概要					
企業価値を分析する上で必要となる概念や多角的な視点そして技法を習得し、実際にそれらを利用して企業評価を行う。また企業評価に関する代表的な実証論文を読むことで、企業評価研究が抱える課題を理解し、会計的視点からどのような貢献ができるのかを議論する。					
授業の一般目標					
本講義では、アカウンティング、ファイナンス、マネジメントの3領域を融合した次のようなトピックを理解・議論する。(1)経営戦略とファンダメンタル分析、(2)キャッシュフローと会計政策、(3)会計情報と市場の効率性、(4)資本構成と企業価値、(5)配当政策と企業価値など。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
試験は行いません。授業の取り組み姿勢や貢献度、レポートなどから総合的に評価します。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000065
開設科目名	会計政策論研究			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	松浦 良行			区分	
授業の概要					
今年度は環境会計について学習し、その全体像と現状を把握することを目的とする。近年サステナビリティに対する関心はグローバルな意味で高まりを見せており、企業もそれに対して具体的に対応するだけでなく定量的評価を行い、かつ投資家に対して効果的なディスクロージャーを実施しなければならない。					
授業の一般目標					
この講義では、上記の点を踏まえて、企業はなぜ環境会計を実施しようとし、そのための評価尺度としてどのようなメトリックが利用可能であるかを理解した上で、どのような報告が実際に行われているかをネット情報を利用して把握することにある。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: ・環境会計と財務会計の違いを説明できる					
・環境会計の構成要素を説明できる。					
・環境会計における測定方法や尺度を説明できる。					
・環境会計を実施している企業を列挙できる。					
思考・判断の観点: ・どのような環境会計にかかる開示が望ましいか自分自身の見解を述べる事が出来る。					
関心・意欲の観点: ・積極的に事例収集を実施する。					
・不明な点などがあれば直接企業に質問することができる。					
態度の観点: ・講義に可能な限り出席する。					
技能・表現の観点: ・ネットの検索機能を効果的に活用し、的確な情報収集が出来る。					
・テキスト内容の報告をプレゼンテーションソフトを活用して明瞭に行うことが出来る。					
成績評価方法(総合)					
期末のレポートと、講義に出席し、議論・分析にきちんと参加されているかで評価します。					
なお、3回以上の欠席は欠格とします。					
教科書					
環境経営・会計 (有斐閣アルマ) / 国部克彦 他:有斐閣, 2007					
参考書					
メッセージ					
私は通常常盤キャンパスにあり、原則週に一回しか吉田キャンパスには来ません。履修を希望される方は、事前に下記のアドレスまでご連絡下さい。					
連絡先					
matu@yamaguchi-u.ac.jp (内線 9067)					
オフィスアワー					
木曜日の午前 10 時から 12 時まで吉田キャンパスの研究室で対応する。					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000066
開設科目名	演習 A			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	石田 成則			区分	
授業の概要					
企業経営におけるリスクについて、物的リスク、人的リスクそして賠償責任リスクに分類して、学習する。リスク認知、リスク測定、そしてリスク処理策に関する教科書を輪読する。					
授業の一般目標					
リスクマネジメントの考え方や具体的手法を、理論と実践・事例研究を通じて学び理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: リスクマネジメントの手法と有用性					
思考・判断の観点: リスクマネジメントの考え方					
成績評価方法(総合)					
レポートと平常点					
教科書					
参考書					
MBAリスク・マネジメント					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000067
開設科目名	演習 A			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	安住 修一			区分	
授業の概要					
修士論文作成を最終目的として授業外でテーマ選定や資料等を収集するとともに、究極的には論文作成にも役立つケーススタディ、判例研究を通じて、税法的な思考に慣れ、応用力を習得することを目指します。					
授業の一般目標					
論文作成にも役立つ所得税法、法人税法、消費税法、国税通則法などの広範な税の知識を深めること。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
演習全般の姿勢					
教科書					
ワークブック租税法 / 金子宏他: 弘文堂					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
(TEL) 083-933-5580 (メール) azumi@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000068
開設科目名	演習 A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	武居 奈緒子			区分	
授業の概要					
修士論文を作成し、関連文献を輪読する。					
授業の一般目標					
修士論文の作成					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
業態の盛衰—現代流通の激流— / 田村正紀: 千倉書房, 2008					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000069
開設科目名	演習 A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	塚田 広人			区分	
授業の概要					
<p>本演習では、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 修士論文執筆に向けた研究方法の指導 2 各院生の報告とそれに関する議論 <p>の二つを行う。</p>					
授業の一般目標					
各院生が修士論文の執筆方法を理解し、研究を行う。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席と報告により評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
<p>933 - 5558 ht@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>A 棟 424 号室</p>					
オフィスアワー					
原則として水曜日 1 時半～3 時 (在室時はそれ以外でも可)					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000070
開設科目名	演習 A			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	城下 賢吾			区分	
授業の概要					
企業財務・投資に関する専門書の内容に関する報告並びに輪読					
授業の一般目標					
企業財務・投資に関する基礎知識の習得					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
ゼミの報告並びに出席					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000071
開設科目名	演習 A			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	柳田 卓爾			区分	
授業の概要					
修士論文指導。					
授業の一般目標					
修士論文の基本的構造を、完成させる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
研究報告など、総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000072
開設科目名	演習 A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	長谷川 光圀			区分	
授業の概要					
論文の作成					
授業の一般目標					
修士論文の作成					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 正しい専門知識の習得					
思考・判断の観点: 深い理解力					
成績評価方法(総合)					
論文評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000073
開設科目名	演習 A			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	中田 範夫			区分	
授業の概要					
この授業は修士論文の作成を中心にして指導する。学生がどのようなテーマで修士論文を作成するかについての支援をする。つぎに、そのテーマに従いながら年末までに修士論文として仕上げるのを支援する。					
授業の一般目標					
修士論文を作成すること。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
修士論文の経過報告で評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000074
開設科目名	演習 A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	鍋山 祥子			区分	
授業の概要					
修士論文の作成に関する指導をおこなう。					
授業の一般目標					
修士論文を完成させる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
修士論文の作成過程を総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
Eメール:nabeyama@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000075
開設科目名	演習 A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	河野 眞治			区分	
授業の概要					
修士論文の中間報告を行う。					
授業の一般目標					
立派な修士論文を書くこと。					
授業の到達目標					
技能・表現の観点: 学術的形式を整えた修士論文を書くこと。					
成績評価方法(総合)					
中間報告で評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
水曜 10:00-12:00					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000076
開設科目名	演習 A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	宮崎 充保			区分	
授業の概要					
修士論文執筆に向けて、その方向性と方法を扱う。					
授業の一般目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・文献・資料の適切なアプローチと扱い方 ・論述の仕方 ・論文の構成法 					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 論点の中核をなす自己課題					
思考・判断の観点: 適切なレアリアを求める					
関心・意欲の観点: 問題解決のための論述への関心					
態度の観点: 積み上げ学習の形成					
技能・表現の観点: ハンドアウト作成 プレゼンテーションとディスカッション					
成績評価方法(総合)					
<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドアウトとプレゼンテーション ・議論の明確さ ・日常的な学習の成果 					
教科書					
参考書					
メッセージ					
一歩 一歩、丁寧に表現し、積み上げてください。					
連絡先					
mmiy@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
空いている時間はオフィスアワーとします。					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000077
開設科目名	演習 A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	馬田 哲次			区分	
授業の概要					
各自の修士論文のテーマに沿って指導をします。					
授業の一般目標					
1. 問題設定を明確にする。 2. 結論を明確にする。 3. 結論に至る論証をきちんとする。 4. 形式面をきちんとする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 修士論文のテーマに関する十分な知識をもっている。					
思考・判断の観点: 論理的に思考する。 結論を導く論拠が明確である。					
成績評価方法(総合)					
出席と発表で総合的に判断します。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
umada@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000078
開設科目名	演習 A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	李 海峰			区分	
授業の概要					
修士論文の進捗状況、課題を報告してもらい、それに対し質疑応答を通して、論文の進行、構成を指導する。					
授業の一般目標					
毎回の報告、参加者との質疑応答によって、修士論文の改善すべき点を見つけ出すようにさせ、研究論文の作成を目的として、研究水準を向上させることを目標とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
先行研究、オリジナル研究					
教科書					
参考書					
メッセージ					
水準の高い研究論文の完成を目指して、がんばってください。					
連絡先					
オフィスアワー					
研究室にいる時、いつでもよろしい					

開設期	前期	曜日時間	未定	時間割コード	2031000079
開設科目名	演習 A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	陳 禮俊			区分	
授業の概要					
<p>今日では、人類の生産力(対自然支配力)はかつてなく巨大な水準に到達している。そのため、自然環境の状態は、自然生態系によって決まるといよりは、人間活動のあり方如何によって大きく規定されるという歴史的段階に突入している。それゆえ、人間活動の設計を一步誤るならば、人間活動の基盤そのものを崩壊させてしまうような環境破壊を招く危険性もかつてなく飛躍的に高まっているといわなければならない。こうした現代の環境破壊をめぐる現実とその危険性の一層の高まりは、実は現代の経済学に対する大きな挑戦でもある。ここに新しい学問としての「環境経済学」が誕生せざるを得ない強い現実的要請がある。</p>					
授業の一般目標					
<p>演習 A で習得した知識を土台に、より高度な環境経済学に関わる文献を輪読・討議しながら、独創的な研究論文を執筆する能力を高める。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:環境問題の現状、影響及びその原因を理解する。 思考・判断の観点:環境問題を解決するための方策を考える。 関心・意欲の観点:環境問題への関心、理解及び発言内容を考察する。 態度の観点:積極的に出席し討議する。 技能・表現の観点:経済学知識を応用する。 その他の観点:他分野の知識との関連を探る。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>本講義は、受講者の発表(プレゼン)、出席によって評価する。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
<p>本ゼミでは、物事を批判的に見る視角、学生の主体性・自主性を重要視する。演習では、事前の予習と活発な討論を期待する。また、教員と学生の関係はもとより、学生同士の結びつきや刺激のしあいを大切に考えている。</p>					
連絡先					
<p>研究室: 経済学部 A 棟 電話: 083-933-5526 E-mail: lichun@po.cc.yamaguchi-u.ac.jp</p>					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000080
開設科目名	演習 A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	石 龍潭			区分	
授業の概要					
<p>「行政法研究C」及び「行政法研究D」での問題意識をさらに発展させ、行政法に関するより具体的な問題点を検討していく。 具体的問題の検討を通して、行政法の重要な制度の理解を深めるとともに、問題の解決を自分で考え、それを表現する能力を養う。 したがって、これまで履修した講義などによる知識を習得・理解していること、演習への主体的な参加が要求される。</p>					
授業の一般目標					
<p>行政法における重要な学説や判例の理解を深めることを一般目標とする。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
レポート、出席による。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
日々のニュースに敏感であって欲しい。					
連絡先					
<p>質問等のある学生は、気軽に私の研究室に来てください。 (研究室: 経済学部 A 棟 408 室)</p>					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000081
開設科目名	演習 A			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	成富 敬			区分	
授業の概要					
研究テーマに関連する専門的な知識を習得するとともに、文献の紹介や研究内容の発表をおこなう。					
授業の一般目標					
専門的な知識を習得し、関連文献の収集、研究についてのより深い議論ができる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
研究に取り組む姿勢、研究成果等により総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000082
開設科目名	演習 A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	古川 澄明			区分	
授業の概要					
修士論文の作成指導。学生が独自に選択したテーマについて、研究課題、研究方法、研究対象、方法論、資料収集の方法などについて、指導する。学生は、自分の設定テーマに対して研究方法論を自覚的に展開できるように、指導する。とくに先行研究は重要であり、その方法についても、指導を行う。					
授業の一般目標					
修士論文の研究テーマ、研究課題、研究方法、研究対象、方法論、資料収集の方法について、学生が独自に自主的に取り組むように指導を行う。本演習では、とくに先行研究と資料収集の方法について学生が自覚的、意識的にその重要性を認識することを重要視しており、徹底した指導を行う。修士論文の評価基準は、形式要件、論理性、独創性、体系性、発展性といった5つの基準を満たすことができるように指導する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 経済学、経営学の基礎知識を十分に持つこと。					
思考・判断の観点: 論理的、体系的思考力を養うだけでなく、先行研究を十分に行う中で、独創的な課題と研究方法を開発すること。					
関心・意欲の観点: 十分な先行研究を踏まえて、独創的な課題を設定し、それを究明する独創的な方法論を開発すること。それに対して、強い学術的意欲を持つこと。					
態度の観点: 常に真摯に、徹底した究明意欲を持ち、中途半端な結論を出さないこと。					
技能・表現の観点: 先行研究に研究方法や論述上は表現方法を学び、独自の論及方法を開発すること。					
その他の観点: 研究の独創性を常に意識すること。					
成績評価方法(総合)					
修士論文の評価基準である、形式要件、論理性、独創性、体系性、発展性といった5つの基準を、それぞれにおいて、十分に満たすことが求められる。5つの基準が満たされる限りで、演習は合格と認定され、その上で、レベルに応じて、評点が与えられる。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
意識的、自学的に、研究の独創性を追及すること。					
連絡先					
学務					
オフィスアワー					
事前アボの上、随時。					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000083
開設科目名	演習 A			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	篠原 淳			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000084
開設科目名	Seminar B(Thesis Instruction)			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	土生 英里			区分	
授業の概要					
Instruction and review to complete master's thesis					
授業の一般目標					
To complete master's thesis ensuring proper volume and quality.					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
Evaluation result of completed thesis.					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
e.habu@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
Mon - Wed: Time in between lectures and seminars.					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000085
開設科目名	Seminar B(Thesis Instruction)			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	仲間 瑞樹			区分	
授業の概要					
In every seminar, students presents on his/her master dissertation.					
授業の一般目標					
To submit logical and clear-cut master dissertation.					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000086
開設科目名	Seminar B			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	馬田 哲次			区分	
授業の概要					
Students get some advice on their research.					
授業の一般目標					
To acquire enough knowledge on master thesis.					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
Evaluation will be made emphasizing on the presentation.					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000087
開設科目名	Seminar B			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	土生 英里			区分	
授業の概要					
The seminar offers basic concepts and knowledge needed to understand the basics of study theme selected by the student.					
授業の一般目標					
In this seminar, student will collect the basic information and existing papers related to his or her study area.					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
Participation and presence in the classroom will be evaluated.					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
e.habu@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
Mon. - Wed.: Time available in between lectures and seminars.					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2031000088
開設科目名	Seminar B			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	仲間 瑞樹			区分	
授業の概要					
In this seminar, we study various topics as follows. Local Decentralization between Japan and Bangladesh, Tax Structure between Japan and Bangladesh and Intergovernmental Transfer between Japan and Bangladesh. All topics we study in this class are based on comparative analysis. Students who attend this class need to have fundamental knowledge of Economics, Public Finance and Public Administration.					
授業の一般目標					
To distinguish the differences of the tax structure between Japan and Bangladesh. To analyze how Japanese(Bangladeshi) central government to promote Local Decentralization.					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000001
開設科目名	高齢化社会の経済学的研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	植村 高久			区分	
授業の概要					
日本における高齢化の進展から生じる経済的問題を総合的多面的に考察する。					
授業の一般目標					
少子高齢化が及ぼす経済的效果について、様々な影響の回路を理解して、包括的・総合的に判断できる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 日本の少子高齢化の状況と見通し、その原因について概略説明できる。					
思考・判断の観点: 少子高齢化の作用について、適切に推論できる。					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000002
開設科目名	Public Economics			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	寺地 伸二			区分	

授業の概要

This course will set out the basic framework for the analysis of policies, programs, projects, regulations, and other government interventions. One needs to know whether the benefits (revenues) of all policy consequences exceed the costs (expenditures). The analysis tries to consider all of the costs and benefits to society as a whole. The objective is to facilitate more efficient allocation of society's resources. Where markets work well, individual self-interest leads to an efficient allocation of resources. Consequently, programs of government intervention move the market away from a competitive equilibrium, creating distortions in the market as economic resources are reallocated. In perfectly competitive markets there are no externalities. Externalities are present in a market if the actions of either consumers or producers lead to costs or benefits that are not reflected in the price of the product in the market. Where markets fail, there is a rationale for government intervention. One must be able to demonstrate the superior efficiency of a particular intervention relative to the alternatives. For this purpose, we use public economic theory.

授業の一般目標

This course will be devoted to a discussion of the main conceptual issues involved in public economics.

授業の到達目標

成績評価方法(総合)

研究発表

教科書

参考書

メッセージ

連絡先

オフィスアワー

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000003
開設科目名	経済応用数学B			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	柏木 芳美			区分	
授業の概要					
経済応用数学 A に引き続き、ミクロ経済学の理解に必要な数学の概説を行う。尚、他にやって欲しいことがあれば相談に乗る。					
授業の一般目標					
ミクロ経済学で使う数学を身につけること。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 条件付き極値問題の意味を理解し、具体的な問題が解ける。					
2. 効用最大化問題・支出最小化問題の意味を理解し、具体的な問題が解ける。					
3. スルツキー方程式が扱える。					
4. 所得効果、代替効果の意味を理解し、その基本的な性質が扱える。					
思考・判断の観点: 1. 経済現象を数学を使って考えることができる。					
関心・意欲の観点: 1. 日常生活の中の経済現象に関心を持つ。					
成績評価方法(総合)					
毎回演習問題を出す。その結果を見て成績を付ける。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
毎回演習問題を出すので次回までに必ず解いてくること。					
連絡先					
e-mail: kashi-y@yamaguchi-u.ac.jp					
Tel&Fax: 083-933-5595					
オフィスアワー					
開始時点に伝える。研究室は経済学部 C 棟 C213。					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000004
開設科目名	Mathematics for Economics			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	柏木 芳美			区分	
授業の概要					
<p>The aim of this lecture is to introduce students elementary mathematics used in microeconomics. By using mathematics, things in economics will become clear and we can handle them theoretically. Actually microeconomics has been developed by mathematics. Topics include: basic mathematics, differentiation of functions of one variable, application of derivatives.</p>					
授業の一般目標					
To understand Mathematics using in Microeconomics.					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. Can use basic mathematics.					
2. Can calculate derivatives of functions.					
3. Can use basic properties of derivatives.					
思考・判断の観点: 1. Can study economic problems using mathematics.					
関心・意欲の観点: 1. Have interest concerning economic phenomena around us.					
成績評価方法(総合)					
Assignments will be given everytime and they will be evaluated.					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
E-mail:kashi-y@yamaguchi-u.ac.jp					
Tel&Fax:083-933-5595					
オフィスアワー					
If you have any question, visit my office at any time. My office is C213.					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000005
開設科目名	Economics			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	山田 正雄			区分	
授業の概要					
Introduction to macroeconomics					
授業の一般目標					
This course is designed to understand the basic concept and framework of macroeconomics.					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: To understand the basic concept and framework of macroeconomics.					
成績評価方法(総合)					
The evaluation will be made based on presentation, attendance and contribution to the class.					
教科書					
Macroeconomics / N. Gregory Mankiw: Worth Publishers , 2002					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000006
開設科目名	Economic Statistics			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	野村 淳一			区分	
授業の概要					
Simulation models have been widely used in the design of public policy. For example, simulation models could answer questions like the following: (1) What is the impact of an increase in the federal budget deficit on the level of interest rates and the rate of inflation? (2) How does the trade deficit affect the level of employment and the bargaining position of labor unions? (3) What is the relationship between the quantity of money, say M1, and the level of economic activity? This course focuses upon econometric simulation models. Therefore we explain how to estimate a single equation model at first. For most economic decision or choice problems, we want to know the relationships between economic variables, which are suggested by economic theory. These are called economic models. These economic models involve questions concerning the signs and magnitudes of unknown and unobservable parameters, such as price elasticities and multipliers.					
授業の一般目標					
One of our goals is to give you some idea of how we introduce parameters into an economic model and how we estimate them. Then we discuss the construction, evaluation, and analysis of simultaneous equation models and their use in policy analysis and forecasting. At the end of this course we will construct our own simulation models and evaluate their dynamic behavior.					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 基本的な統計学の理論を理解している。					
思考・判断の観点: 現実の経済現象を理論的に考察し、政策や外的ショックの効果を判断できる。 統計学の手法を正しく適用し、結果を判断できる。					
技能・表現の観点: 発表資料を効果的に作成し、明快な発表ができる。 統計データを正しく処理し、形式的にも十分に整った報告書・論文が作成できる。					
成績評価方法(総合)					
課題レポートで判定する。 評価割合は 100%。					
教科書					
Basic Econometrics / Damodar N. Gujarati : McGraw-Hill , 2003					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000007
開設科目名	外国文献研究A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	兵藤 隆			区分	
授業の概要					
この講義では、原書のテキストを用いながら、金融論の基礎を習得し、特に、わが国と米国の金融システムの違いについてリアリティをもって習得することを目的とする。					
授業の一般目標					
英語(縦)を日本語(横)にするという作業に留まらないように、原書を読んでしっかり理解する。理解した上で、金融システムの相違について議論できるようにしたい。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
担当部分の翻訳・発表プレゼンの評価が中心になる。発表時以外も議論への参加度、出席率を加味して評価する。但し出席が所定の回数に達しない場合は、単位を与えない。					
教科書					
The Economics of Money, Banking, and Financial Markets / Frederic S. Mishkin: Addison-Wesley, 1997					
参考書					
メッセージ					
外国文献研究は、単に、翻訳しながら英語の読解力をつけることだけが目的ではない。先端を行く経済学者たちの「生(なま)の経済学」に触れることで、経済学の中にある「科学」を感じ取ってもらいたい。					
連絡先					
thyodo@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000008
開設科目名	公共経済研究B			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤井 大司郎			区分	
授業の概要					
公共支出、租税、公債、外部経済に関する政府の政策理論を学ぶ。					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000009
開設科目名	政府と政策			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	仲間 瑞樹			区分	
授業の概要					
政府の経済介入の功罪を、テキストを利用しながら受講生に発表してもらう。					
授業の一般目標					
学部で履修したミクロ経済学、マクロ経済学、経済数学を用いながら、政府の経済介入の功罪を学ぶこと。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: ミクロ経済学、マクロ経済学、経済数学を経済分析に用いられる。					
成績評価方法(総合)					
毎回の出席・報告から評価。					
教科書					
入門 財政・公共政策 / アリエ・L・ヒルマン:けい草書房, 2006					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
講義内でお知らせします。					
オフィスアワー					
講義内でお知らせします。					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000010
開設科目名	社会福祉政策研究			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	鍋山 祥子			区分	
授業の概要					
現在の福祉政策がどのような理念のもとに進められているのか、また、どのような問題点が指摘されているのか、などについて、共通の文献を読み合わせる ことによって、議論を進めていく。 テーマとなる主な福祉政策は、高齢者福祉政策、労働政策、家族政策などである。また、ジェンダー・パースペクティブを有効な方法論として使用する。					
授業の一般目標					
社会政策の体系を理解し、問題点についても理解を深めること。また、福祉政策が社会に与える影響を理解すること。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
授業への参加度合いや討論の内容など、総合的に判断し評価する。 演習形式の授業のため、出席は履修の必要条件である。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
受講者の興味関心にできるだけ近い文献を選定します。					
連絡先					
Eメール:nabeyama@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
水曜日 3/4 限					

開設期	後期	曜日時間	未定	時間割コード	2032000011
開設科目名	日本経済史研究A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	木部 和昭			区分	
授業の概要					
<p>テーマ: 日本経済近代化と企業家の役割</p> <p>明治・大正・昭和にかけての近代日本経済史について、「企業家(entrepreneur)」の活動およびその役割に焦点を絞って取り扱う。19世紀半ば、黒船の来航による西洋文明の衝撃によって近代国家への道を歩み始めた日本が、西洋の先進技術を貪欲に吸収し、種々の産業を興し、工業化を推進し、ついには産業革命を達成するなど、驚異的経済発展を遂げた事実は広く知られている。その発展の要因には様々なものが考えられるが、近年特に注目されているのが「企業家」の果たした役割である。「企業家」活動が経済発展に与える役割の大きさは、シュンペーターによって理論的に指摘されて以来、経済史学・経営史学に多大な影響を与え、多くの研究蓄積をもたらしている。本授業では、こうした研究成果を踏まえつつ、日本の「企業家」群像の諸活動を通じて、近代日本の経済発展について多面的に考察していきたい。</p>					
授業の一般目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・近代日本の経済史について理解を深める。 ・「企業家」の諸活動が日本の産業革命、近代化に及ぼした影響を多面的に考察する。 					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
課題の報告(45%)およびレポート(30%)による。その他、授業への取組み(15%)、出席(10%)。					
教科書					
企業家たちの挑戦 / 宮本又郎: 中央公論新社, 1999					
参考書					
メッセージ					
・講義内容は、受講者の専攻及び興味関心によって、変更になる場合がある。					
連絡先					
<p>経済学部 C207 研究室</p> <p>内線 5566</p> <p>E-mail: kibe@yamaguchi-u.ac.jp</p>					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000012
開設科目名	欧米経済史研究B			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	古賀 大介			区分	
授業の概要					
学期のはじめに、経済史に関する様々なテーマを与え(例えば 1929 年恐慌の原因と結果など)、それについて後日報告してもらう。					
授業の一般目標					
大学院レベルのアカデミックスキルを身につけること目的とする。正しく文献を読む能力、まとめる能力、口頭・文章で表す能力などがそれである。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
報告・出席等を総合的に判断して評価。レポートなどの課題を出す場合もある。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
高度な日本語能力を要求する					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000013
開設科目名	Development Economics			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	濱島 清史			区分	
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・ In this course , we'll learn the evolution of development economics by picking up some representative articles of it . ・ : The development economics is the area of study that deal with how to develop developing countries and the economic mechanism of so called the third world . ・ Effect : We will get an outline of the development economics and this knowledge is very instructive for us to consider the economic development of your countries too . 					
授業の一般目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ Aim : in this course , we'll learn the evolution of development economics by picking up some representative articles of it . ・ : The development economics is the area of study that deal with how to develop developing countries and the economic mechanism of so called the third world . ・ Effect : We will get an outline of the development economics and this knowledge is very instructive for us to consider the economic development of your countries too . 					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
by the presentations.					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000014
開設科目名	地域経済論研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	齋藤 英智			区分	
授業の概要					
地域経済に関連する諸理論を学び、地域経済の現代的課題について検討する。					
授業の一般目標					
地域経済に関する理論を理解するとともに、地域経済学的アプローチによって地域の現代的課題を考察することができる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 地域経済に関する理論についての報告・議論ができる。					
思考・判断の観点: 理論と現状に基づく問題の所在を述べるができる。					
関心・意欲の観点: 疑問点を自ら積極的に調査・分析し、報告・議論ができる。					
態度の観点: ディスカッションに積極的に参加し、発言ができる。					
技能・表現の観点: 課題に対する多面的な角度からのアプローチができる。					
成績評価方法(総合)					
出席(30%)、報告(50%)、参加姿勢・発言内容など(20%)により総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
報告者が提供するトピックでは、資料の収集やデータ分析などを各自で行ってもらう。ワード、エクセルなどのソフトを利用し、分析できることが望まれる。					
連絡先					
hidetomo@yamaguchi-u.ac.jp					
メールで質問や問い合わせを行う際は、メールの件名に“【地域経済論研究】 ”と名前を必ず明記してください(件名がない場合はメールを破棄します)。					
オフィスアワー					
研究室(経済学部 A 棟 4 階 425) 在室中はいつでも研究室に来ていただいて結構です。					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000016
開設科目名	海運論研究B			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	澤 喜司郎			区分	
授業の概要					
海運論研究 A に続けて、国際海運経済学の諸理論について学習します。この講義は海運論研究 A の単位を修得していることが受講の条件になります。					
授業の一般目標					
国際海運経済学の諸理論の習得を目指します。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 国際海運経済学の諸理論を習得する。					
成績評価方法(総合)					
成績評価は、学期末のレポート(10,000 字以上)によって行います。					
教科書					
国際海運経済学 / 澤喜司郎; 海文堂出版, 2004					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000017
開設科目名	交通論研究B			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	澤 喜司郎			区分	
授業の概要					
交通論研究Aに続き、交通現象や人々の交通行動を研究するための基礎としての交通計量経済学について学習します。 なお、本講義の履修には、交通論研究Aを履修してあることが前提条件となります。					
授業の一般目標					
交通計量経済学の諸手法の習得を目指します。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 交通計量経済学の諸手法を習得する。					
成績評価方法(総合)					
成績評価は、学期末のレポート(10,000字以上)によって行います。					
教科書					
交通計量経済学(改訂版) / 澤喜司郎:成山堂書店,2000					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000018
開設科目名	多国籍企業と世界経済研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	河野 眞治			区分	
授業の概要					
多国籍企業の諸側面について学ぶ。					
授業の一般目標					
多国籍企業と直接投資についての詳しい知識と理論を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 多国籍企業についての深い知識					
成績評価方法(総合)					
レポートと討論で評価する。					
教科書					
World Investment Report 2009 / UNCTAD:UN, 2009					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
水曜 10:00-12:00					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000019
開設科目名	Postwar Japanese International Policies			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	今津 武			区分	
授業の概要					
<p>After World War II, the Japanese Government and Japanese nationals made huge efforts to recover from the destruction of the war, and Japanese people have had the earnest desire to rejoin the international society and contribute to global prosperity as a "Peaceful Country". To realize this wish, the Japanese Government has taken the policy to establish friendly and close relations with all countries in the World as the main plank of our diplomacy. Furthermore, we started providing Aid toward developing countries from the early post-war years of recovery. And at present, International Aid has been always very important axis of Japan's international politics. Under these circumstances, understanding the history, policy and practice of Japan's ODA would be useful to get valuable insights into Japan's Post-war international politics.</p>					
授業の一般目標					
<p>After studying the outline of history, policy and practice of Japan's ODA, students are requested to consider and examine how to develop the future relationship between Japan and her/his country using Japan's ODA and to prepare a proposal paper on it.</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: Students will evaluate Japanese international cooperation policy considering the past relations between Japan and developing countries established by using mainly ODA.</p> <p>思考・判断の観点: Students will consider the future direction of Japan's international policy from the point of view of developing countries.</p> <p>関心・意欲の観点: Students in this course come from developing countries and almost of them are government officials in respective countries. So they will be expected to play a important roll for the development of each country. They must learn concrete approach to Japan's ODA for using it effectively and efficiently for the development of their own countries.</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>Judging the achievement level of each assignment such as presentations in the class and prepared papers. The attendance in the class will also be considered for final grading.</p>					
教科書					
参考書					
<p>Yen for Development / Edited by Shafiqul Islam: Council on Foreign Relations Press, 1991</p> <p>Aid--Understanding International Development Cooperation / J. Degnbol-Martinussen & P. Engberg-Pedersen: Zed Books, 2005</p> <p>The Elusive Quest for Growth / William Easterly: The MIT Press, 2002</p> <p>The End of Poverty / Jeffrey Sachs: Penguin Books, 2005</p> <p>Future positive International Co-operation in the 21st Century / Michael Edwards: Earthscan, 2004</p>					
メッセージ					
連絡先					
imazu@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000020
開設科目名	中国産業政策研究			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	陳 建平			区分	
授業の概要					
改革開放を通じて中国の産業構造は大きく変貌した。本講義では、中国の産業政策について取り上げ、文献等の精読を通じて認識を深める。					
授業の一般目標					
中国の産業政策の現状と課題についての理解を深める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
報告発表と期末レポートを総合して評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
中国語資料を使うことがあるので、中国語の読解能力を有することが望ましい。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000021
開設科目名	政治理論研究B			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	渡邊 幹雄			区分	
授業の概要					
政治理論研究Aにおける一般的な講義を受けて、こちらではかなりテクニカルな問題に踏み込みます。具体的には、集合的な意思決定の指針となる社会的厚生関数の問題について、新旧の厚生経済学、法哲学、そして現代政治理論・正義論を横断的に論じます。テクニカルな作業に通じることが目的ではなく、そのように表現されるものの背後にある問題を的確に理解することに努めます。					
授業の一般目標					
厚生経済学・法哲学・政治理論の各分野においてなにが中心的テーマになっているのか、どうしてそれが問題となるのかを理解することがこの授業の一般目標です。テクニカルな作業はそのための道具ですので、難しく考えることはありません。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
期末におこなう定期試験で決定します。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
授業終了後の一定時間であれば、いつでも結構です。					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000022
開設科目名	憲法研究D			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	梶原 健佑			区分	
授業の概要					
<p>憲法学(行政法学との関連領域を含む)の諸問題につき、理論的検討を加える。内容の詳細は受講生の希望も踏まえて決定する。 受講生による報告、参加者によるディスカッションという形式で行う。</p>					
授業の一般目標					
<p>理論的な問題を扱った専門的な論文あるいは判例・判例評釈を批判的に検討する作業を通じて、物事を様々な角度から批判的に分析する力を身につける。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 扱う論点をめぐる情報を正確に認識し、その問題点を理解できる。 思考・判断の観点: 論点の所在を発見し、関連する判例・学説を批判的に分析・検討できる。 関心・意欲の観点: 政治・社会の様々な問題にアンテナをはり、憲法学の視点から諸問題を分析しようという積極的主体性をもつ。 態度の観点: 自分なりの見解を形成するために、多様な資料を集めて読み込み、あるいは講義内で議論に積極的に参加することができる。 技能・表現の観点: 報告担当時には、自ら調べたこと・考えたことを、他者に分かりやすくプレゼンテーションできる。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>平常点による。試験やレポートは行わない。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
<p>興味・関心・意欲のある方の参加を歓迎します。</p>					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000023
開設科目名	医療訴訟研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	平中 貫一			区分	
授業の概要					
医療訴訟を研究する。					
授業の一般目標					
医療訴訟の学習。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
報告による。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000024
開設科目名	民法研究D			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	三間地 光宏			区分	
授業の概要					
実体法と手続法にまたがる問題をとりあげて検討したい。					
授業の一般目標					
実体法と手続法が交錯する問題を理解できるようになること。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 実体法と手続法が交錯する問題を理解できるようになること。					
思考・判断の観点: 実体法的な思考だけでなく手続法的な思考もできるようになること。					
関心・意欲の観点: 実体法だけでなく訴訟法にも興味を持つこと。					
態度の観点: 報告が当たったときはしっかりと調べてくること。報告があたってないときも積極的に発言すること。					
成績評価方法(総合)					
平常点による。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
民法だけでなく民事訴訟法の知識が必要となるため「民法研究C」と比べると難易度が高い授業である。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000025
開設科目名	外国文献研究A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	油納 健一			区分	
授業の概要					
法学に関する英語文献を読んでいく。					
授業の一般目標					
英米法と英語読解能力を習得する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出欠や遅刻早退の有無・報告内容・発言内容・関心態度などを総合的に判断して、評価する。 3回以上無断で欠席した者には、単位を認定しない。また、学習意欲のない者・他の受講生に迷惑をかける者・教官の指示に従わない者にも、単位を認定しない。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
yuno@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
毎日研究室にいる。在室中は急用がある場合を除きいつでも相談に応じる。					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000026
開設科目名	刑事法研究B			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	安里 全勝			区分	
授業の概要					
刑法各論の内容を理解して貰う。刑法は犯罪と刑罰を規定する法律であるが、刑法各論の授業は具体的な犯罪の内容を考察することになる。最初の授業の時に講義要項を配布し、それにしたがって授業を行う。					
授業の一般目標					
具体的な犯罪の考察において不可欠となる保護法益、行為の主体、行為の客体等を考察していく。具体的には判例を考察し、刑法理論がどのように適用されていくのかを見ることにする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 刑法理論の内容を理解して貰う。犯罪は具体的な罪名を持つ。そこで、それらの犯罪に刑法理論がどのように適用されているかを理解して貰う。					
思考・判断の観点: 法的思考の観点から、法律理論が具体的事案にどのように適用されていくのかを理解して貰う。					
成績評価方法(総合)					
レポート、出席					
教科書					
刑法各論(財産に対する罪) / 安里全勝:成文堂, 2009					
参考書					
演習ノート刑法各論(第4版) / 岡野光雄:法学書院, 2008					
メッセージ					
予習、復習をして欲しい。 毎回出席すること。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000027
開設科目名	企業法研究D			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	中村 美紀子			区分	
授業の概要					
本講義では、企業法の中でも改正が進む会社法について研究する。2005年の会社法成立に伴う変化にはどのような意義があり、またその変化にはどのような問題点が生じているのかを学術的見地から検討する。					
授業の一般目標					
履修者が、会社法の主要な分野と会社法規制の全体像を掘り下げて分析し、適正な会社法制度のあり方を研究することを目標とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
レジュメの作成、プレゼンの工夫、報告内容、議論内容を総合的に勘案する。					
教科書					
会社法における主要論点の評価 / 森 = 上村[編]:中央経済社, 2006					
参考書					
テキストブック会社法 / 末永敏和[編著]:中央経済社, 2006					
会社法判例百選 / 江頭憲治郎他[編]:有斐閣, 2006					
メッセージ					
2009年度版六法を必携してください。小型のもので構いません。					
履修者は、会社法関連のテーマ・判例を中心に、自己の関心・問題意識から、とくに本講義で検討したい点をいくつか考えておくこと。					
連絡先					
授業開始時に連絡します。					
オフィスアワー					
火曜日 16:10 17:40					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000028
開設科目名	雇用関係法研究B			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	柳澤 旭			区分	
授業の概要					
雇用との関係で日本の社会保障を検討する。具体的には医療保険についての具体的な判例を検討する。					
授業の一般目標					
医療保険についての制度の法的意義や問題点について、実際の判例をもとに検討する。					
授業の到達目標					
思考・判断の観点: 具体的問題を訴訟のケースでみることによって実際の問題について考える力を養う。					
成績評価方法(総合)					
教科書					
未定					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000029
開設科目名	行政法研究B			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	上杉 信敬			区分	
授業の概要					
行政法研究Aで行った研究を踏まえて、さらに次の領域内四段階の研究を行う。					
授業の一般目標					
行政に関する法的諸問題のうちいずれかに焦点を当ててさらに次の内容もしくは段階の行政に関する問題を深める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席状況、テーマに関しての分担の報告の内容、質疑応答、レポートなどを総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
行政と法について考えて行きましょう。					
連絡先					
内線 5588					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000030
開設科目名	税法研究B			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	安住 修一			区分	
授業の概要					
所得税法、法人税法、消費税法、国税通則法などの基本知識を習得していることを前提として、ケーススタディ、判例研究を通じて、税法的な思考に慣れ、応用力を習得することを目指します。					
授業の一般目標					
実践的な文献やケーススタディ、判例研究を通じて、税法のより広く深い理解を目指します。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席状況、受講態度、期末レポート等を総合的に評価します。					
教科書					
ケースブック租税法 / 金子宏他: 弘文堂					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
(TEL)083-933-5580 (メール)azumi@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000031
開設科目名	行政法研究D			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	石 龍潭			区分	
授業の概要					
「行政法研究C」での問題意識をさらに発展させ、より具体的な問題点を検討する。					
授業の一般目標					
具体的な事例に対して、行政法学の見地から説明・分析する知識や能力を身につけてもらいたい。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席、レポート等による。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
日々のニュースに敏感であって欲しい。					
連絡先					
質問等のある学生は、気軽に私の研究室に来てください。 (研究室: 経済学部 A 棟 408 室)					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000032
開設科目名	財務諸表の応用研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	篠原 淳			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000033
開設科目名	西欧文化の研究B			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	鴨川 啓信			区分	
授業の概要					
<p>批評家 Edward Said の後期の著作を読んでいく。 特に雑誌等に発表された、現在の世界情勢に関する記事を原文(英語)で読んでいくことで、そこで扱われている事態への理解を深めると共に、その背景に潜む文化的考え方を考察する。</p>					
授業の一般目標					
西洋文化や世界のあり方への理解を深める。英語読解力の向上。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
毎回の授業参加度 + 期末課題					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
e-mail: kamogawa@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000034
開設科目名	Academic Writing			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	TAKEMOTO TIMOTHY ROLAND SCOTT			区分	
授業の概要					
This course aims to provide a basic understanding of the format and creation of an academic thesis.					
授業の一般目標					
Please see below					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: The elements of American Psychological Association journal article style					
思考・判断の観点: The ability to think logically and systematically in English					
技能・表現の観点: The ability to express yourself logically and systematically in English					
成績評価方法(総合)					
You will be assess on your presentations and your contribution to the corretion and perfection of the presentations of your peers. Particular emphasis will be placed on avoiding plagiarism complete.					
教科書					
参考書					
メッセージ					
Please bear in mind that in the second half of the course you will be required to submit your writing weekly via email.					
連絡先					
Please see the email address on my homepage at http://www.nihonbunka.com					
オフィスアワー					
Please come and see me anytime. My office phone number is 083 933 5555					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000035
開設科目名	中国近現代文化の研究B			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	齊藤 匡史			区分	
授業の概要					
<p>本科目は近現代日本の知識人たちが見た「中国」を辿りながら、日本人の中国認識を考察しつ、日本と中国の関係について考察を進め、中国近現代を社会文化の側面から考察し、中国「近現代」を捉えようとするものである。</p>					
授業の一般目標					
<p>中国「近現代」社会文化の特性を理解し、今日の中国理解、日中関係理解の一助とする。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:・中国が歩んだ「近現代」について理解を深める ・日本人の中国理解の変遷を知る 思考・判断の観点:現代中国、今日の中国と日本の関係を理解することができる 関心・意欲の観点:参考となる文献や資料を収集することができる 態度の観点:担当した課題を責任を持って調べ発表できる</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>授業への貢献度、レポート、発表等総合的に評価する</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
<p>saito@yamaguchi-u.ac.jp</p>					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000036
開設科目名	国際観光開発			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	朝水 宗彦			区分	
授業の概要					
<p>The industrial revolution and mass transport systems have significantly changed our society. In addition, development of air transportation has made travel easier and, as a result, tourism has become one of the largest industries in the world. International tourism is not an urban issue alone anymore. In some rural areas, international tourists have strong impacts towards local people economically and culturally. When mass-tourism was dominant, many of tourists concentrated in artificial rural areas such as beach resorts and ski resorts. On the other hand, eco-tourists and green-tourists at times deeply interact with local people.</p> <p>産業革命と大量輸送システムは私たちの社会を大きく変化させた。さらに、航空技術の発展は旅を容易にし、結果として観光は世界最大の産業の一つになった。国際観光はもはや都市部だけの問題ではない。いくつかの地方では、国際観光客が地元の人々に対して経済的、文化的に強い影響を及ぼしている。マスツーリズムが主流だった頃、観光客の多くはビーチリゾートやスキーリゾートなど人工的な地区に集中した。他方、エコツーリストやグリーン・ツーリストは時には地元の人々に対してより深い相互作用をもたらしている。</p>					
授業の一般目標					
<p>There are two aims of this class; 1) learn basic concepts from the textbook and 2) individual research by students.</p> <p>この授業では2つの目標がある。1) 英文テキストから基本的なコンセプトを学ぶ、2) 学生が各自で調査を行う。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: From the textbook, students can learn tourism development especially as it relates to Japan. A summary understanding of the textbook is the main task for your midterm.</p> <p>思考・判断の観点: Additionally, it is important to understand that international tourism policies are complex. Not only Japan's international tourism policies, but also an understanding of tourism developments other than Japan is also needed.</p> <p>関心・意欲の観点: The final report requires a comparative study between Japan and other countries with the use of several reference materials.</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>Attendance will be 30%, the mid-term assignment is 30%, and the final report is 40%.</p> <p>出席 30%、中間課題 30%、期末レポート 40%</p>					
教科書					
World Travel and Japanese Tourists / ASAMIZU Munehiko: Gakubunsha, 2005					
参考書					
<p>観光開発と文化 / 橋本和也・佐藤 幸男編: 世界思想社, 2003</p> <p>国際観光とエコツーリズム / 小方 昌勝: 文理閣, 2000</p> <p>Japan's Globalization / KAWAKAMI Ikuo et. al.: Kumpul, 2007</p> <p>Tourism Development Revisited: Concepts, Issues and Paradigms / Sutteeshna Babu S. et.al.: Sage, 2008</p> <p>Tourism and Development in the Developing World / David J. Telfer, Richard Sharpley: Routledge, 2008</p>					
メッセージ					
The textbook is written in English.					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000037
開設科目名	知的財産権法研究			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	木村 友久			区分	
授業の概要					
<p>知価社会の到来により、商品化過程に介入する知的財産の価値が再認識されている。</p> <p>この科目では、研究開発あるいは商品製造過程で求められる知的財産に関する総合的知識の修得とスキル形成を行う。知的財産は、「製品等の開発製造過程で創作される知的財産」「営業上の信用が化体されている知的財産」「思想または感情の創作物に関わる知的財産」の三類型に区分される。知的財産権論では、学習者にこれらの全体像を認識させるとともに、特に発明の同一性判断を起点とする知識の深化と実践的態度形成に重点を置き、実際の開発製造現場で技術情報等の取得から戦略的判断に至る系統的な知的財産対応能力の形成を目指す内容となっている。即ち、特許発明の同一性判断・特許情報および特許管理・パテントマップ作成モジュールを設定することにより、受講者が特許侵害各論で部分的な法律解釈に偏ることなく、客体情報や技術等の推移を踏まえた一貫した実践的対応が可能となるようにしている。</p>					
授業の一般目標					
<p>この科目を受講し、以下のような実力が身に付くと、この科目の目指す学習目標に到達したと考えられる。</p> <p>(1) 研究開発や商品製造部門で、知的財産の全体像から業務上直接的に関係する事項を選択し、当該事項を業務に適用して初動段階で適切な知的財産対応を行うことができる。ここで、知的財産対応には、自己あるいは所属部門で完結した対応を行うだけでなく、状況に応じて企業内の権利化部門や侵害訴訟対応部門等と効果的な連携を図る能力も含まれる。</p> <p>(2) 自己あるいは所属部門の業務に合わせて、特許等の知的財産権情報検索を適切に行い基本的なパテントマップを作成することができる。</p> <p>(3) 特許発明の技術的範囲について、的確な解釈を行うことができる。</p> <p>(4) パテントマップや特許発明の技術的範囲同一性判断等を手がかりに、技術開発動向の把握および研究開発の方向付けを行うことができる。</p> <p>(5) 特許侵害訴訟における基本的な法律上の論点を理解した上で、特許発明技術的範囲同一性判断を行い、法務部門と連携して訴訟対応に必要な資料をまとめることができる。</p> <p>(6) 所属部門の業務に合わせた、ソフトウェア、デザイン、ノウハウを含む知的財産管理を適切に行うことができる。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 特許侵害訴訟における基本的な法律上の論点を理解する。</p> <p>思考・判断の観点: 自己あるいは所属部門で完結した対応を行うだけでなく、状況に応じて企業内の権利化部門や侵害訴訟対応部門等と効果的な連携を図る。</p> <p>技能・表現の観点: (1) 研究開発や商品製造部門で、知的財産の全体像から業務上直接的に関係する事項を選択し、当該事項を業務に適用して初動段階で適切な知的財産対応を行うことができる。</p> <p>(2) 自己あるいは所属部門の業務に合わせて、特許等の知的財産権情報検索を適切に行い基本的なパテントマップを作成することができる。</p> <p>(3) 特許発明の技術的範囲について、的確な解釈を行うことができる。</p> <p>(4) パテントマップや特許発明の技術的範囲同一性判断等を手がかりに、技術開発動向の把握および研究開発の方向付けを行うことができる。</p> <p>(5) 特許侵害訴訟における基本的な法律上の論点を理解した上で、法務部門と連携して訴訟対応に必要な資料をまとめることができる。</p> <p>(6) 所属部門の業務に合わせた、ソフトウェア、デザイン、ノウハウを含む知的財産管理を適切に行うことができる。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>ケーススタディレポートあるいは実習レポート、期末試験あるいは期末レポートの結果を元に成績評価を行う。それぞれの占める比率は、ケーススタディレポートあるいは実習レポート、期末試験あるいは期末レポート、クラスへの貢献度を合計して成績を評価する。それぞれの占める比率は、ケーススタディレポートあるいは実習レポート 45%、期末試験あるいは期末レポート 40%、クラスへの貢献度(ディスカッションへの参加など) 15%。</p>					
教科書					
<p>大学と研究機関のための知的財産教本 / 山口大学知的財産本部監修: EME 出版, 2004</p>					
参考書					
<p>書いてみよう特許明細書・出してみよう特許出願 / 特許庁編: 特許庁, 2003</p> <p>研究開発活かそう社会に / 特許庁編: 特許庁, 2003</p>					
メッセージ					
<p>・講義中に指定した資料や判例は、一通り目を通してください。</p> <p>・パテントマップ作成等は学生自身の専門領域で作成するので、予め電子図書館等で概要を検索してください。</p>					

・授業内のディスカッションに積極的に参加してください。

連絡先

研究室電話番号 0836-85-9909 緊急連絡先 090-7391-4578

電子メール t-kimura@yamaguchi-u.ac.jp

オフィスアワー

経済学研究科と別キャンパスに研究室があるため、研究室での定常的時間は設定できない。時間が空いたら適宜対応するので、事前に上記連絡先に問い合わせをして下さい。

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000038
開設科目名	人的資源管理の変化と展望研究			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	内田 恭彦			区分	
授業の概要					
<p>本授業では日本型人事が今後どの方向に向かうのか、ということを検討していく。最初に青木昌彦の双対原理によりJ型(日本型)、A型(アメリカ型)の企業組織の基本アーキテクチャーを理解したのち、サンフォード・ジャコビー教授の近年の日本とアメリカの人事がどのように変化しているのかを明らかにした研究を確認する。その上で最新の日本型人事の調査研究を検討し、本授業の主題について洞察を得ていく。</p>					
授業の一般目標					
<p>多様な組織のアーキテクチャーとそれに適したHRMの存在を理解する。 環境変化への対応において単純な欧米型人事システムへの収斂ではない、多様な進化の可能性を理解する。 実証研究の基本的スタイルと方法についての基本的理解を得る。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:多様な組織のアーキテクチャーとそれに適したHRMの存在を理解する。 環境変化への対応において単純な欧米型人事システムへの収斂ではない、多様な進化の可能性を理解する。 実証研究の基本的スタイルと方法についての基本的理解を得る。 思考・判断の観点:指定著書や論文の内容を理解するだけでなく、多様な観点から批判的検討を加えられるようになる。 関心・意欲の観点:大学院生として、生産的に発表・議論できるようになる。</p>					
成績評価方法(総合)					
事前課題の遂行程度、発表内容、議論への貢献度、期末レポートで成績を評価します。					
教科書					
<p>日本経済の制度分析 / 青木昌彦: 筑摩書房, 1992 日本の人事部・アメリカの人事部 - 日本企業のコーポレートガバナンスと雇用関係 / サンフォード・M・ジャコビー: 東洋経済新報社, 2005</p>					
参考書					
<p>日本企業の知的資本マネジメント / 内田恭彦 / ヨーラン・ルース: 中央経済社, 2008 日本型人事管理 進化形の発生プロセスと機能性 / 平野光俊: 中央経済社, 2006</p>					
メッセージ					
連絡先					
y.uchida@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
特に設けません。質問などがある人は上記連絡先に内容と希望日時をお伝えください。					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000039
開設科目名	国際比較経営史研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	古川 澄明			区分	
授業の概要					
受講者の修士論文の作成を前提にして、受講者の経営学的基础知識を深める。とくに修士論文の作成についての相談にも応じながら、学べる形をとる。					
授業の一般目標					
修士論文の作成に繋がるような授業を行うので、受講者と相談の上で、テーマを選択する。目標は、修士論文の基礎となる経営学基礎知識の修得に置く。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 経営学の専門知識の修得					
思考・判断の観点: 学術的論文を作成するための思考力や研究上のアイデア想像力を養うこと。					
関心・意欲の観点: 授業で取り上げる論題に対して、常に、積極的に関心を持ち、知識を深めようとする意欲が不可欠である。					
態度の観点: 授業は、パッシブな態度ではなく、ポジティブ、アクティブな姿勢が求められる。					
技能・表現の観点: 報告を行うことで、プレゼンテーション力を身に付けると同時に、論文の構想力を養うこと。					
その他の観点: 授業に自分の研究と結びつけた強い関心と、学ぼうとする意欲が求められる。					
成績評価方法(総合)					
受講態度を総合的に判断して評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
特定のテーマで修士論文を書くという明確な目標をもって授業に参加すること。					
連絡先					
学務					
オフィスアワー					
事前アポにより、随時					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000040
開設科目名	国際経営の応用研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	有村 貞則			区分	
授業の概要					
小売業のグローバル化に関する理論と実際を考察する。					
授業の一般目標					
1.小売業のグローバル化に関する理論の習得					
2.ケース分析、実態調査結果の検討					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 小売業のグローバル化の理論と理解できるようになる。					
成績評価方法(総合)					
レポート、発表					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
研究室在室中はいつでも可					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000041
開設科目名	コーポレートファイナンス研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	城下 賢吾			区分	
授業の概要					
企業財務の基礎理論の習得					
授業の一般目標					
専門知識の習得とその応用					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席、レポート、報告					
教科書					
参考書					
コーポレートファイナンス入門 / 砂川伸幸: 日本経済出版社, 2004					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000042
開設科目名	医療財務研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	城下 賢吾			区分	
授業の概要					
企業の財務についての基礎知識の習得					
授業の一般目標					
専門知識の習得とその応用					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
報告、レポート、出席					
教科書					
コーポレートファイナンス入門 / 砂川伸幸: 日本経済出版社, 2004					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000043
開設科目名	情報処理基礎研究			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	成富 敬			区分	
授業の概要					
経済や経営におけるさまざまな問題に科学的手法を用いて対処するための、情報処理の基礎的事項について考察する。					
授業の一般目標					
経済や経営におけるさまざまな問題に科学的手法を用いて対処するための、情報処理の基礎的事項について理解する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席, レポート, 授業への参加度合い等をもとに総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000044
開設科目名	医療情報研究			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	成富 敬			区分	
授業の概要					
医療情報の分野について講義及びディスカッションをおこなう。					
授業の一般目標					
医療情報の分野について知識を習得し、ディスカッションをおこなうことができる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席、内容の理解度、ディスカッション内容等により総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000045
開設科目名	経営数理システム研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	渋谷 綾子			区分	
授業の概要					
<p>”システム”の分析においては、システムを入出力モデルや目的追求モデルとしてとらえることが多い。このようなとらえ方はシステムズアプローチとして主に工学的分野で成果をみたが、本講義では、社会科学分野でのシステムズアプローチの適用の可能性を探る。</p> <p>または、受講者の希望によってはビジネスゲームをもちいたシミュレーション学習を体験する。また、ビジネスゲームを採用するときは、簡単な日本語理解力試験を行い、受講を再検討するよう促す場合もありうる。</p>					
授業の一般目標					
<p>システムズアプローチを学ぶ場合は、組織に関わる諸現象を数理的にとらえることを目標とする。たとえば、組織を入出力システムとみなしたときの、組織内システムの作用と外部(環境)との関係に注目し、組織と環境に対する洞察を深める。</p> <p>または、ビジネスゲームを選択した場合は、ビジネスゲームを通して経営意思決定の経験をつむ。そのことによって、経営全般を一つのシステムとして把握したうえで意思決定ができる経営者としての素養を養う。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:価格、売上高、費用、在庫、仕入、広告効果、投資効果等を、それらの相互関係を把握した上で分析できる知識と理解力。 組織内で発生する様々な現象が全体にどのように影響を与えるかを分析できる知識 組織外の要因を、組織が制御可能なものと制御できないものに分け、特に制御できない要因(環境)への組織の対応に関する知識</p> <p>思考・判断の観点:ある現象が影響を及ぼす範囲と程度について正しい思考と判断ができることを目指す。</p> <p>関心・意欲の観点:文章で提示された問題から数的モデルを作り出すことに関心があれば、難しい授業ではありません。しかし、例えば、利益を最大にするには、現在提示されている数値をどのように組み合わせで定式化すべきか、というようなことを考えるのがつらいと感じるのであれば、受講しても得るものではありません。</p> <p>ビジネスゲームに参加する場合はラウンドごとの締切に合わせて意思決定をしなくてはなりません。ルールに従いながら、強い戦力を発揮するにはどうすることが必要になってくるかに関心を持っていて、意欲的に取り組む姿勢を望みます。</p> <p>態度の観点:履修手続きをしたあとで、自分にはこの授業は必要ないと感じた場合、単位をあきらめて受講を放棄するか、最後まで頑張るか、本人の意志を尊重しますが、緊張感のない態度で出席を続けることは、他の受講者へ悪影響を与えるので、避けてください。</p> <p>礼儀正しい態度での受講を切に願います。</p> <p>技能・表現の観点:積極的に思考し、発表し、議論する態度と、そのための学習、思考、準備を確実に実行できることが望ましい。</p> <p>その他の観点:ビジネスゲームに参加する場合はチームでの意思決定を行うことになります。</p> <p>チーム内のメンバーとどのように人間関係を築いていくか、ということもゲームの戦力に影響を与えます。</p>					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
shibuya@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
水曜日12時~13時、他、在室中ならいつでも可。					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000046
開設科目名	非物的経済財の資産化と原価計算研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	中田 範夫			区分	
授業の概要					
非物的経済財には市場を通じて財産化されている特許権や著作権が該当する。しかし、それ以外にも市場の検証を受けないが、実質的に企業価値を高めている経済財が存在する。たとえば、自社生産されたソフトウェアや特定の経営管理手法である。本講義では、このうちソフトウェアについて学んでいく。					
授業の一般目標					
ソフトウェアをはじめとする自己生産される経済財は財務会計的側面だけでなく、他方で管理会計的側面を有している。これら2つの側面について学ぶことが目標である。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席、報告、授業への参加度などで総合評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日制限	未定	時間割コード	2032000047
開設科目名	医療・福祉経営分析研究			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	羽生 正宗			区分	
授業の概要					
<p>近年医療・福祉を取り巻く環境は極めて厳しい状況となっている。診療報酬や介護報酬の引き下げ、補助金削減の影響等により、従来と同じやり方を続けていると財政基盤が悪化してしまう。今医療・福祉機関には、報酬改定の動向を踏まえて収入構造を改善すると同時に、効率的な提供体制のあり方を常に模索し実践することが求められている。そのため、組織の本来的な「基本的な使命と役割」を再確認し、現状の分析を行う必要がある。複雑化、流動化の著しい近年の医療・福祉を取り巻く環境のもとでは、病院や福祉施設の経営実態を的確に把握することは非常に重要なことである。</p> <p>医療・福祉経営分析研究では、病院の財務資料を分類、整理し、機能別に比較、検討することによって、医業活動の実態を明らかにし、その将来を予測し、経営計画を立てることに役立つ技法を学ぶ。</p>					
授業の一般目標					
<p>本講義では、特に医療・福祉領域の経営者及び従事者やこれらの領域を対象とする企業・行政などに勤める社会人を対象に、明日の医療・福祉現場を担う専門職業人として必要な知識の習得を目指す。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:近年の医療・福祉経営実態を明らかにし、状況を理解し、分析し、経営管理の技法を学ぶ。</p> <p>思考・判断の観点:医療・福祉経営環境を理解し、経営実態を的確に把握する。</p> <p>関心・意欲の観点:病院や福祉施設の財務資料を分類、整理し、機能別に比較、検討する。</p> <p>態度の観点:人の話を良く聴くとともに、自分の気持ちや考え方を的確に表現し、礼儀正しい態度で望む。</p> <p>技能・表現の観点:授業内容を正確に理解し、書くことができる。</p> <p>積極的に発表の機会を利用し、自分の発想、考察を発表する。</p> <p>その他の観点:価値観の違う人と意見を交換することで、「相手を理解する」心を養うとともに、自分の意思・感情・思考を相手に正しく伝える力を身に付ける。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>試験は行いません。授業の出席は欠格条件とし、取組み姿勢(80%)、レポート(20%)等から総合的に評価します。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
<p>医療・福祉経営に興味のある方は是非受講してください。</p>					
連絡先					
<p>hanew@yamaguchi-u.ac.jp</p>					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000048
開設科目名	医療制度研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員				区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000049
開設科目名	福祉施設経営管理研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員				区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000050
開設科目名	医療・福祉経営特別研究 A			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	非常勤 講師			区分	
授業の概要					
工業製品で不良品が発生する確立と比べ物にならない医療における不確実性や不均一性は、一般の人に理解されたいレベルにある。患者や入居者が予測しにくい障害をうけたり死亡したりするのもあり得る。だからこそ、「医療の安全性」は医療の質を構成する他の因子(患者中心性、有効性、効率性など)以上に重要といえる。医療・福祉分野における医療事故の発生原因、発生過程を分析し、適切な医療安全管理体制の基礎とその構築方法を学び、現場で応用していく能力を身につけるために、講義形式とともにロールプレーや現場研修を重ね、実地能力を身につけることに主眼をおく。					
授業の一般目標					
医療・福祉における適切な医療安全管理体制を構築、運用、発展させ、現場における医療安全を達成できる能力を身につけることを目標としている。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 医療安全管理に必要な基礎知識、応用知識を身につける					
思考・判断の観点: 事故発生時に適切な判断を速やかに行なう判断力を身につける					
態度の観点: 医療事故発生時に不満・怒りをぶつける患者、家族を相手にするときに必要な態度を身につける					
成績評価方法(総合)					
小論文の提出をもとめ、日常の理解度と合わせて評価を行う					
教科書					
人は誰でも間違える / コーン / コリガン / ドナルドソン: 日本評論社, 2000					
医療安全管理者必携 医療安全管理テキスト / 四病院団体協議会医療安全管理者養成委員会: 日本規格協会, 2005					
医療におけるヒューマンエラー / 河野龍太郎: 医学書院, 2004					
RCA の基礎知識と活用事例 / 飯田修平 / 柳川達生: 日本規格協会, 2006					
医療安全ワークブック 第2版 / 川村治子: 医学書院, 2008					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
国立病院機構山口宇部医療センター ksugi@yamaguchi.hosp.go.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000051
開設科目名	戦略的マーケティングの展開研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	武居 奈緒子			区分	
授業の概要					
<p>市場の全体的成長の伸び悩みと企業間競争の激化に対応して、マーケティング戦略のあり方を製品レベルで考えるのではなく、企業全体レベルで考えるようになってきた。これが、戦略的マーケティングという考え方である。</p> <p>この講義においては、戦略的マーケティングの台頭の背景、基本的性格、対象領域、戦略の内容を考えた上で、他の企業との関係において、マーケティングの諸要素をどのように戦略的に組み合わせれば良いかについて、考察していきたい。</p>					
授業の一般目標					
マーケティング戦略論に関する基本的文献を輪読し、報告と討論を通じて基本的知識、研究方法の修得をめざす。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000052
開設科目名	流通システムの応用研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤田 健			区分	
授業の概要					
<p>わが国の流通は、情報技術の革新、ロジスティクスやサプライチェーン概念の普及、製販戦略提携などによって、調達・生産・物流・販売の各所でめざましい変貌を遂げている。それに対応して、流通研究の研究対象や方法も大きく変化している。そこで本講義では、現代の流通・営業戦略を学び、流通研究における現代的な研究課題を理解する。</p>					
授業の一般目標					
<p>1.現代の流通・営業戦略の知識を習得する。 2.流通研究における研究課題を理解する。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:現代の流通現象や流通理論を理解できるようになる。 思考・判断の観点:現代の流通現象や流通分野の研究課題について、理論的な枠組みに基づいて考えることができる。</p>					
成績評価方法(総合)					
中間試験(40%)、期末試験(40%)、プレゼン(20%)					
教科書					
流通・営業戦略 / 小林 哲・南 知恵子(編):有斐閣アルマ,2004					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000053
開設科目名	商品の経済環境研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	柳田 卓爾			区分	
授業の概要					
商品を題材にして、小論文・レポートを執筆するための基礎的な知識を学ぶ。					
授業の一般目標					
商品を題材にして、小論文・レポートを執筆するための基礎的な知識を習得する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
宿題、プレゼンテーション、ディスカッションへの貢献度、小テスト、最終レポート等を総合して評価する。出席は、欠格条件である。					
教科書					
大学生のためのレポート・論文術、(講談社現代新書) / 小笠原喜康: 講談社, 2002 現代製品戦略論 / 米谷雅之: 千倉書房, 2001					
参考書					
メッセージ					
修士課程の学生が身に付けておくことが望ましい、基礎的な力を習得できることを目標に、頑張ってください。テキストは、各人の責任で準備して下さい。また、ノートパソコンを持参してもらうことがあります。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000054
開設科目名	医療保険制度研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	石田 成則			区分	
授業の概要					
わが国の医療政策について理解するために、医療制度と医療保険について学習する。またその特長を理解するために、OECD諸国を中心とした諸外国の医療制度と医療保険を学ぶ。そしてこうした政策と保険について、医療経営への影響を考察し、それを評価する。					
授業の一般目標					
諸外国の制度と比較することで、わが国の医療制度・医療保険の現状と課題を理解する。その上で、医療経営の観点から、望ましい改革を考えていく。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: わが国および諸外国の医療制度・医療保険の理解					
技能・表現の観点: 修士論文作成のための中間報告・プレゼン					
成績評価方法(総合)					
レポートと平常点					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000055
開設科目名	戦略的コスト・マネジメントと管理会計研究			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	藤田 智丈			区分	
授業の概要					
<p>企業競争がますます激化する中で、勝ち組・負け組といった差がはっきりと現れ始めています。このような差が生まれる原因の一つに、戦略の策定と遂行の問題があります。戦略とは、組織の長期的目標に到達するためのビジョンであり行動計画でなければなりません。近年になり管理会計でも戦略性を伴うことが重要な課題となっています。そこで、この授業では戦略的管理会計、具体的には原価企画やABC/ABM、ライフサイクルコストングといった課題について検討します。</p>					
授業の一般目標					
<p>戦略を理解し、戦略的マネジメントを理解する。また、有効なコストマネジメントを検討する考え方を身につける。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:伝統的な管理会計が持つ問題点を理解し、それを克服するための多様な手法を理解する。</p> <p>思考・判断の観点:抽象的な理論を覚えるのではなく、実際のビジネスでどのように用いられているのか、どのような意義があるのかということを考え、使える知識に発展させる。</p> <p>関心・意欲の観点:使える知識を身につけることで、ビジネスに対する興味を深める。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>授業での発表や議論、及び最終レポートで評価します。</p>					
教科書					
参考書					
<p>管理会計・入門 新版(有斐閣アルマ) / 浅田孝幸 他:有斐閣,2005</p>					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000056
開設科目名	税務会計研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	米谷 健司			区分	
授業の概要					
<p>税務会計の研究領域には主に3つのトピックが含まれます。1つは法人税法をベースにした課税所得の計算方法、いま1つは税引後利益(あるいは税引後キャッシュ・フロー)の最大化を目的としたタックス・プランニング(税務計画)、最後は会計利益と課税所得の差額の調整を目的とした税効果会計です。従来の税務会計研究は課税所得の計算規定に関する規範的あるいは解釈論的研究がほとんどでしたが、最近ではタックス・プランニングや税効果会計に関する実証的研究の重要性が高まっています。本講義では後者の実証的研究に焦点をあて、これまでに蓄積されてきた先行研究を読み進めるとともに、今後の税務会計研究の展望について議論します。</p>					
授業の一般目標					
実証的研究を学習するうえで必要となる知識の習得をめざす。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
試験は行いません。授業の取り組み姿勢や貢献度、レポートなどから総合的に評価します。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000057
開設科目名	資本市場の財務情報の役割研究			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	松浦 良行			区分	
授業の概要					
この講義では、財務数値を用いた証券価値評価のプロセスを理解するために、教科書に指定したテキストを輪読・討議する。					
授業の一般目標					
理論的な証券価値評価を実施するための一連のプロセスを説明し、実際に評価を行うことが出来る。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 配当割引モデル、キャッシュフローモデル、残余利益モデルを説明できる。					
・財務分析と評価モデルとの関係性を説明できる。					
・財務数値予測のための一連のステップを説明できる。					
思考・判断の観点: 具体的な事例に対して習得した知識を適用し、理論価値と実際の株価との乖離原因を説明できる。					
・具体的な証券投資意思決定に評価を応用できる。					
関心・意欲の観点: ケース分析において積極的に議論に参加する。					
・疑問点について自発的に調査できる。					
態度の観点: 講義に可能な限り出席する。					
技能・表現の観点: 表計算ソフトを活用して価値評価が出来る。					
成績評価方法(総合)					
期末のレポートと、講義に出席し、議論・分析にきちんと参加されているかで評価します。					
なお、3回以上の欠席は欠格とします。					
教科書					
Equity Valuation and Analysis / R.Lundholm & R.Sloan : McGraw-Hill Irwin , 2007					
参考書					
メッセージ					
私は通常常盤キャンパスにあり、原則週に一回しか吉田キャンパスには来ません。履修を希望される方は、事前に下記のアドレスまでご連絡下さい。					
連絡先					
matu@yamaguchi-u.ac.jp (内線 9067)					
オフィスアワー					
木曜日の午前 10 時から 12 時まで吉田キャンパスの研究室で対応する。					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000058
開設科目名	国際経営戦略研究			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	稲葉 和也			区分	
授業の概要					
<p>今日企業を取り巻く環境はグローバルに大きく変化しており、過去の企業行動の原理や行動様式の変革が迫られている。将来が予測できない環境の元でどのように対処すればよいのかを考えるためには国際経営戦略という指針が必要であり、経営戦略的な思考を受講者が身につける必要がある。国際経営戦略は「国際的な活動を行う企業が有する経営資源と企業を取り巻く環境との間に、企業目的の実現にとって最も有利な適合関係を創り出すための手段選択の原理」と定義することができる。</p> <p>本講義では、(1)企業のパフォーマンス測定に関する財務理論、(2)取引費用理論、(3)プリンシパル・エージェント理論、(4)ポジショニング理論、(5)内部資源を重視するRBV(リソース・ベース・ビュー)、(6)ミンツバークに代表される創発戦略、(7)リアルオプション理論等の経営戦略理論を取り上げ、国際競争戦略を研究する上での基盤としたい。企業戦略に関するこれらの理論や研究成果を受講者が習得し、国際的に応用・研究できる力を身につける。</p>					
授業の一般目標					
<p>この科目を受講し、以下のような実力が身に付くと、この科目の目指す学習目標に到達したと考えられる。</p> <p>(1)企業経営の外部環境と内部の経営資源について理論的に要約し、統合して考えることができる。</p> <p>(2)企業戦略論で取り上げるいくつかの理論について理解し、説明できる。</p> <p>(3)国際経営戦略を策定し、実行することを意識して、研究に臨むことができる。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
<p>講義への出席、報告、期末試験あるいは期末レポートの結果を基に成績評価を行う。それぞれの占める比率は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 報告 40% ・ 期末試験あるいは期末レポート 40% ・ クラスへの貢献度(ディスカッションへの参加など) 20% 					
教科書					
『企業戦略論[上] 基本編 - 競争優位の構築と持続 -』, 年 / ジェイ・B・バーニー:ダイヤモンド社, 2003					
『企業戦略論[中] 事業戦略編 - 競争優位の構築と持続 -』 / ジェイ・B・バーニー:ダイヤモンド社, 2003					
『企業戦略論[下] 全社戦略編 - 競争優位の構築と持続 -』 / ジェイ・B・バーニー:ダイヤモンド社, 2003					
参考書					
『国際経営講義: 多国籍企業とグローバル資本主義』 / ジェフリー・ジョーンズ:株式会社有斐閣, 2007					
メッセージ					
わからないことがありましたら遠慮無く聞きに来てください。					
連絡先					
e-mail: inaba@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000059
開設科目名	演習 B			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	馬田 哲次			区分	
授業の概要					
各自の修士論文のテーマに沿って研究指導を行う。					
授業の一般目標					
1. 問題設定が明確である。					
2. 結論が明確である。					
3. 結論を導く論拠が明確である。					
4. 形式的な要件を満たしている					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 修士論文に関する知識を十分持っている					
思考・判断の観点: 結論を導く論拠が明確である。					
成績評価方法(総合)					
出席と発表で総合的に判断します。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
umada@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000060
開設科目名	演習 B			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	塚田 広人			区分	
授業の概要					
<p>本演習では、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 修士論文執筆に向けた研究方法の指導 2 各院生の報告とそれに関する議論 <p>の二つを行う。</p>					
授業の一般目標					
各院生が修士論文の執筆方法を理解し、研究を行う。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席と報告により評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
<p>933 - 5558 ht@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>A 棟 424 号室</p>					
オフィスアワー					
原則として水曜日 1 時半～3 時 (在室時はそれ以外でも可)					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000061
開設科目名	演習 B			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	鍋山 祥子			区分	
授業の概要					
修士論文の作成に関する指導をおこなう。					
授業の一般目標					
修士論文を完成させる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
修士論文の作成過程を総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
Eメール:nabeyama@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000062
開設科目名	演習 B			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	石 龍潭			区分	
授業の概要					
<p>「行政法研究C」及び「行政法研究D」での問題意識をさらに発展させ、行政法に関するより具体的な問題点を検討していく。 具体的問題の検討を通して、行政法の重要な制度の理解を深めるとともに、問題の解決を自分で考え、それを表現する能力を養う。 したがって、これまで履修した講義などによる知識を習得・理解していること、演習への主体的な参加が要求される。</p>					
授業の一般目標					
行政法における重要な学説や判例の理解を深めることを一般目標とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
レポート、出席による。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
日々のニュースに敏感であって欲しい。					
連絡先					
<p>質問等のある学生は、気軽に私の研究室に来てください。 (研究室: 経済学部 A 棟 408 室)</p>					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000063
開設科目名	演習 B			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	安住 修一			区分	
授業の概要					
修士論文の作成の指導					
授業の一般目標					
修士論文の作成					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
論文の内容					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
(TEL)083-933-5580					
(メール)azumi@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000064
開設科目名	演習 B			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	河野 眞治			区分	
授業の概要					
修士論文の中間報告を行う。					
授業の一般目標					
立派な修士論文を書くこと。					
授業の到達目標					
技能・表現の観点: 学術的に整った修士論文を書くこと。					
成績評価方法(総合)					
中間報告で評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
水曜 10:00-12:00					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000065
開設科目名	演習 B			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	李 海峰			区分	
授業の概要					
演習 A の引き続き、同様の方法で修士論文を指導する。					
授業の一般目標					
研究方法を身につけてもらう、					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
プレゼンテーションの内容					
教科書					
参考書					
メッセージ					
高水準の論文完成を目指しましょう、					
連絡先					
オフィスアワー					
研究室にいる時、いつでもよろしい					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000066
開設科目名	演習 B			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	宮崎 充保			区分	
授業の概要					
修士論文執筆に向けて、その方向性と方法を扱う。					
授業の一般目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・文献・資料の適切なアプローチと扱い方 ・論述の仕方 ・論文の構成法 					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 論点の中核をなす自己課題					
思考・判断の観点: 適切なレアリアを求める					
関心・意欲の観点: 問題解決のための論述への関心					
態度の観点: 積み上げ学習の形成					
技能・表現の観点: ハンドアウト作成 プレゼンテーションとディスカッション					
成績評価方法(総合)					
<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドアウトとプレゼンテーション ・議論の明確さ ・日常的な学習の成果 					
教科書					
参考書					
メッセージ					
一歩、一歩、諄々として表現し、積み上げてください。					
連絡先					
mmiy@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
空いているときはオフィスアワーとします。					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000067
開設科目名	演習 B			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	篠原 淳			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時間	未定	時間割コード	2032000068
開設科目名	演習 B			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	陳 禮俊			区分	
授業の概要					
<p>今日では、人類の生産力(対自然支配力)はかつてなく巨大な水準に到達している。そのため、自然環境の状態は、自然生態系によって決まるといよりは、人間活動のあり方如何によって大きく規定されるという歴史的段階に突入している。それゆえ、人間活動の設計を一步誤るならば、人間活動の基盤そのものを崩壊させてしまうような環境破壊を招く危険性もかつてなく飛躍的に高まっているといわなければならない。こうした現代の環境破壊をめぐる現実とその危険性の一層の高まりは、実は現代の経済学に対する大きな挑戦でもある。ここに新しい学問としての「環境経済学」が誕生せざるを得ない強い現実的要請がある。</p>					
授業の一般目標					
演習 B で習得した知識を土台に、より高度な環境経済学に関わる文献を輪読・討議しながら、独創的な研究論文を執筆する能力を高める。					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:環境問題の現状、影響及びその原因を理解する。</p> <p>思考・判断の観点:環境問題を解決するための方策を考える。</p> <p>関心・意欲の観点:環境問題への関心、理解及び発言内容を考察する。</p> <p>態度の観点:積極的に出席し討議する。</p> <p>技能・表現の観点:経済学知識を応用する。</p> <p>その他の観点:他分野の知識との関連を探る。</p>					
成績評価方法(総合)					
本講義は、受講者の発表(プレゼン)、出席によって評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
本ゼミでは、物事を批判的に見る視角、学生の主体性・自主性を重要視する。演習では、事前の予習と活発な討論を期待する。また、教員と学生の関係はもとより、学生同士の結びつきや刺激のしあいを大切に考えている。					
連絡先					
<p>研究室: 経済学部 A 棟</p> <p>電 話: 083-933-5526</p> <p>E-mail: lichun@po.cc.yamaguchi-u.ac.jp</p>					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000069
開設科目名	演習 B			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	長谷川 光圀			区分	
授業の概要					
論文の作成					
授業の一般目標					
修士論文の完成					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門知識の活用度					
思考・判断の観点: 正しい理解と使用法					
関心・意欲の観点: 深い思考					
成績評価方法(総合)					
論文評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000070
開設科目名	演習 B			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	古川 澄明			区分	
授業の概要					
修士論文の作成指導。学生が独自に選択したテーマについて、研究課題、研究方法、研究対象、方法論、資料収集の方法などについて、指導する。学生は、自分の設定テーマに対して研究方法論を自覚的に展開できるように、指導する。とくに先行研究は重要であり、その方法についても、指導を行う。					
授業の一般目標					
修士論文の研究テーマ、研究課題、研究方法、研究対象、方法論、資料収集の方法について、学生が独自に自主的に取り組むように指導を行う。本演習では、とくに先行研究と資料収集の方法について学生が自覚的、意識的にその重要性を認識することを重要視しており、徹底した指導を行う。修士論文の評価基準は、形式要件、論理性、独創性、体系性、発展性といった5つの基準を満たすことができるように指導する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 経済学、経営学の基礎知識を十分に持つこと。					
思考・判断の観点: 論理的、体系的思考力を養うだけでなく、先行研究を十分に行う中で、独創的な課題と研究方法を開発すること。					
関心・意欲の観点: 十分な先行研究を踏まえて、独創的な課題を設定し、それを究明する独創的な方法論を開発すること。それに対して、強い学術的意欲を持つこと。					
態度の観点: 常に真摯に、徹底した究明意欲を持ち、中途半端な結論を出さないこと。					
技能・表現の観点: 先行研究に研究方法や論述上は表現方法を学び、独自の論及方法を開発すること。					
その他の観点: 研究の独創性を常に意識すること。					
成績評価方法(総合)					
修士論文の評価基準である、形式要件、論理性、独創性、体系性、発展性といった5つの基準を、それぞれにおいて、十分に満たすことが求められる。5つの基準が満たされる限りで、演習は合格と認定され、その上で、レベルに応じて、評点が与えられる。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
意識的、自学的に、研究の独創性を追及すること。					
連絡先					
学務					
オフィスアワー					
事前アボの上、随時。					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000071
開設科目名	演習 B			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	城下 賢吾			区分	
授業の概要					
修士論文の作成					
授業の一般目標					
これまでの専門知識を生かした優れた修士論文の作成					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
修士論文と出席					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000072
開設科目名	演習 B			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	成富 敬			区分	
授業の概要					
修士論文の作成を目標に、研究内容についての発表とディスカッションをおこなう。					
授業の一般目標					
修士論文を書くための材料を揃え、修士論文の大枠を構成する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
研究に取り組む姿勢、研究成果等により総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000073
開設科目名	演習 B			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	中田 範夫			区分	
授業の概要					
修士論文の作成に必要な支援をします。					
授業の一般目標					
修士論文の完成。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
修士論文の経過報告で評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000074
開設科目名	演習 B			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	石田 成則			区分	
授業の概要					
前期の「MBAのリスクマネジメント」により得た知識を基に、修士論文作成のための報告を行う。					
授業の一般目標					
修士論文作成のための技法を習得するとともに、内容を深める。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: リスクマネジメントの意義、有用性					
思考・判断の観点: リスクマネジメントの考え方					
技能・表現の観点: プレゼンの手法					
成績評価方法(総合)					
報告内容と修士論文					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000075
開設科目名	演習 B			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	柳田 卓爾			区分	
授業の概要					
修士論文指導。					
授業の一般目標					
修士論文を、期日までに完成させる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
研究報告など、総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000076
開設科目名	演習 B			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	武居 奈緒子			区分	
授業の概要					
修士論文を作成する。					
授業の一般目標					
修士論文を完成させる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000077
開設科目名	Seminar A (Thesis Instruction)			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	馬田 哲次			区分	
授業の概要					
Students get some advice on their research.					
授業の一般目標					
1. To acquire enough knowledge on master thesis. 2. To know how to write a master thesis.					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
Evaluation will be made emphasizing on presentation.					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000078
開設科目名	Seminar A (Thesis Instruction)			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	土生 英里			区分	
授業の概要					
Instruction and review to complete master's thesis					
授業の一般目標					
To complete master's thesis ensuring proper volume and quality.					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
Evaluation result of completed thesis.					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
e.habu@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
Mon - Wed: Time in between lectures and seminars.					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000079
開設科目名	Seminar A (Thesis Instruction)			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	仲間 瑞樹			区分	
授業の概要					
In this seminar, students plan the structure of his/her master dissertation.					
授業の一般目標					
To consider whether your interest will be analyzed logically or not.					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000080
開設科目名	Advanced Public Administration Studies			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	安住 修一			区分	
授業の概要					
we study Outline of Japanese tax such as Income tax,Corporation tax,Consumption tax,International tax					
授業の一般目標					
understanding of Outline of Japanese tax					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
attendance20%, general attitude in class 80%					
教科書					
brief paper					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2032000081
開設科目名	外国文献研究A			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	非常勤 講師			区分	
授業の概要					
<p>本講義は、経済学分野の様々なトピックに関する基本的な英語文献を読み、文献を理解したことを前提に、参加者みんなで議論することを目的とします。担当教官の専門分野から、対象領域は以下に限定させていただきます。そのことを前提に、受講して下さい。</p> <p>対象領域: 国際経済学、開発経済学、国際協力論、国際金融論、アジア経済論(東アジア、東南アジア)等</p>					
授業の一般目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・英語を母語としない人が、英語文献を読んで理解できるようになること。 ・(本講義の対象である)経済学分野の議論を理解できるようになること。 ・文献を読んで理解したことを前提に、みんなで議論すること。 					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
<p>本講義では、以下の要素を合計して評価をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポーターとして文献を適切に要約し、プレゼンテーションできたか。 ・コメンテーターとして論点を提示し、議論を活発にすることができたか。 ・他の参加者(レポーター、コメンテーター以外)として、議論に積極的に参加したか。 ・出席点 ・期末(授業終了後)に、授業で読んだ文献を中心に、自分の関心のあるトピックについて論じたレポートを提出してもらいます。(その他、詳しい点については初回授業時に説明いたします) 					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
未定(初回授業時にご連絡いたします)					